

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000782 「総合的な学習」推進事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成19年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	「総合的な学習」推進事業実施要綱									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620134	「総合的な学習」推進事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 全小中学校 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			学習指導要領に基づく総合的で探求的な学習の時間の推進のため、補助することを通して、教育水準の向上を図る。							
対 象 (誰・何を対象に)			児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			「総合的な学習」の時間に要する経費を補助金として支出。 負担金補助等：各小中学校への補助金 2,470千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	2,470	2,504	2,709
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	2,470	2,504	2,709
	B 人件費	千円	0	473	378	378
	総事業費(A+B)	千円	0	2,943	2,882	3,087
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	2,943	2,882	3,087

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000782 「総合的な学習」推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	経費の補助回数	目標	回		1回	1回	1回
		実績			1回	1回	1回
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	校				
		実績			31	33	33
		単位コスト					
	学習指導要領に示す取組を実施した学校	目標	校		31	33	33
		実績			31	33	33
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		学習指導要領に基づく、各学校で工夫を凝らした総合的な学習研究活動を実施し教育水準の向上を図る。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		教科のみならず、探求的な学習活動を通して、主体的に考え行動できる人材の育成につながる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		補助金を通して、学校で有効な学習内容を工夫する。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 事業統合し、学校配分予算内での執行とする。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
方向性	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
		○皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000783	基礎学力定着事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成15年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	基礎学力定着事業実施要項								
構成予算事業		会計		款		項		目	
620222	基礎学力定着事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
	補助金 (補助先: )								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 児童生徒の教育の機会均等を図り、学力を充実させることを目的に、基礎学力の定着が必要な児童生徒に対する学力充実の取組を推進する。								
対象	(誰・何を対象に) 児童生徒								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 基礎学力の定着が必要な児童生徒に対する学力充実の取組に対して、学習で使用する教材、用紙等の一部を支給する。 需用費：予算配分後の各学校執行額 468千円								
関連事業	(同一目的事業等)								
コスト	A	需用費	千円	468	468	475	359		
		報酬	千円	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
	小計	千円	468	468	475	359			
	B	人件費	千円	0	1,418	945	945		
	総事業費(A+B)	千円	468	1,886	1,420	1,304			
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	468	1,886	1,420	1,304				

# 計画事業評価表

計画事業		000783 基礎学力定着事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	基礎学力予算配分執行額	目標	円	468,000	470,000	490,000	490,000
		実績			468,061	474,650	358,341
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	基礎学力予算執行学校数	目標	校	31	31	33	33
実績				31	33	30	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		児童生徒が今後、様々な課題に対応し解決する力の基礎となるものであり、将来の進路を切り開いていくため、必要となる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		将来を担う児童生徒が様々な課題に対応し解決する力を養い、学力の充実を図るとともに教育の機会均等を図る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		費用の一部を負担しているもの。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×	○		×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000784 K Y O 発見仕事・文化体験活動推進事業補助金									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市「K Y O 発見仕事・文化体験活動」推進事業実施要項									
	構成予算事業			会計		款		項		目
620122	K Y O 発見 仕事・文化体験活動推進事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業 直接実施 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: ) 補助金 (補助先: 各小中学校 )								
	事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	児童生徒が望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけ、将来への夢と希望を持って、社会の中で力強く生きようとする意欲や態度を育成する。								
	対象 (誰・何を対象に)	児童生徒								
	事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	豊かな人間性や社会性を育成すると共に、職業に関する知識を身につけ、将来への職業観を育成するなどのキャリア教育を推進するため、各学校が原則小学4年生、中学校2年生を対象に行う農業や福祉施設、伝統工芸や職場等での体験活動等に対し、学級単位での補助を行う。 負担金補助等：市から学校への補助金額 1,356千円 実施学級59学級 (文化:36学級、仕事:23学級)								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	1,302	1,356	1,262	1,274
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,302	1,356	1,262	1,274
	B 人件費	千円	0	284	945	945
	総事業費(A+B)	千円	1,302	1,640	2,207	2,219
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	1,088
	府支出金	千円	1,106	1,153	1,111	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	196	487	1,096	1,131

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000784 K Y O 発見仕事・文化体験活動推進事業補助金						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	府の補助事業を活用し、1学級につき	目標		2.8万円・1.4万円	2.8万円・1.4万円	2.8万円・1.4万円	2.8万円・1.4万円	
		実績			2.8万円・1.4万円	同上	同上	
		単位コスト						
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標名	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		キャリア教育実施校	目標	校	31	31	33	33
実績					31	33	33	
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																																					
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		総合計画後期計画にキャリア教育の推進があげられており、複雑多様化した社会において様々な課題に対応し、解決できる力や、生き抜くことのできる意欲や能力を培うため必要。																																					
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		体験を通じて児童生徒が将来への夢と希望を持ち力強く生きようとする意欲や態度を育むことができ、育成される様々な能力や力は社会のなかで発揮していくことができる。																																					
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		京都府の補助要項の改正により、補助率が引き下げられ、補助の内容が複雑化した。総合計画に基づくキャリア教育の推進のため、取組みの工夫が必要。																																					
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																					
		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)																																					
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性								
成果の方向性	拡充		×																																				
	維持		×	○		×																																	
	縮小		×		×	×																																	
	休廃止		×	×	×																																		
		皆減	縮小	維持	拡大																																		
		コスト投入の方向性																																					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000787	人材育成支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成12年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市人材育成支援事業支給要綱									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620232	人材育成支援事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		人権尊重の社会づくり、あらゆる人権問題の早期解決を担う人材を育成する。								
対象 (誰・何を対象に)		高校生・大学生・専門学校生等								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>人権問題の解決を図ろうとする人材を育成するため、公的な奨学金を受給している高校生・大学生等に学資を支給し、さらに人権学習会を開催する。3会場で実施する人権学習会の講師を招聘し、人権問題について語ってもらう。</p> <p>           需用費：チラシ作成代 29千円            役務費：学習会資料、郵送代 29千円            委託料：学習会業務委託 100千円            扶助費：人材育成支援金 3,450千円         </p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	扶助費	千円	3,720	3,450	2,742	0
		委託料	千円	0	100	0	0
		需用費	千円	24	29	19	16
		役務費	千円	48	29	20	41
		報酬	千円	0	0	0	70
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	100	0	39	2,358
		小計	千円	3,892	3,608	2,820	2,485
	B	人件費	千円	0	1,891	1,607	1,607
		総事業費(A+B)	千円	3,892	5,499	4,427	4,092
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	3,892	5,499	4,427	4,092

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000787 人材育成支援事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	人材育成支援金受給者	目標	人	150人	150人	150人	150人
		実績			151人	117人	99人
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人				
		実績					
		単位コスト					
成果実績	奨学生本人の人権学習会参加数	目標	80人	80人	80人	80人	
		実績		66人	27人	31人	
	目標						
		実績					
	目標						
		実績					

事項		担当課評価																							
担当課評価	<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	人権尊重の社会づくり、あらゆる人権問題の早期解決を担う人材を育成するため、低所得の人権を学ぶ意欲の高い高校生や大学生等に対し、学資の一部を支給し、進路実現の支援を行う。																							
	<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	あらゆる人権問題の解決を図ろうとする人権感覚豊かな人材を育成し、差別を許さない力・自己実現できる力を養う。																							
	<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	人権学習会を開催し、趣旨を徹底している。																							
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																							
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)																							
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×			○	維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×				
	拡充	×			○																				
維持	×			×																					
縮小	×		×	×																					
休廃止		×	×	×																					
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性																		
	皆減	縮小	維持	拡大																					
コスト投入の方向性																									



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000788	家庭教育支援事業								
評価基準年度		平成27年度		事業開始年度		平成14年度		担当部名		教育委員会	
基本理念		72	学校教育の充実		担当課		学校教育課				
基本方針		01	学力を充実・向上する		新規継続区分		継続事業				
施策の大綱				実施計画区分		実施計画事業					
施策				自由区分3		棚卸し未実施					
根拠法令		家庭教育支援事業実施要項									
構成予算事業				会計		款		項		目	
620224	家庭教育支援事業			01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
		直接実施									
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
		補助金 (補助先: )									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		教育の機会均等を図ることを目的に、特に学力課題の見られる児童生徒や家庭の教育力に課題のある児童生徒を対象に、実態に即して、勤務時間外に個別指導や家庭教育支援を行う教員に対し支援をする。									
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>学力課題や家庭の教育力に課題のある児童生徒及びその保護者に個別指導を行った小中学校教員に対し、報償費を支給する。</p> <p>報償費：全学期支給額 3,322件 1,661千円  (1学期 1,154件 577千円)  (2学期 1,275件 637千円)  (3学期 893件 447千円)</p>									
関連事業 (同一目的事業等)											
コスト	A	報償費	千円	1,800	1,661	2,156	0				
		報酬	千円	0	0	0	1,745				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		旅費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0				
	小計	千円	1,800	1,661	2,156	1,745					
	B	人件費	千円	0	1,891	945	945				
	総事業費(A+B)	千円	1,800	3,552	3,101	2,690					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0					
	一般財源	千円	1,800	3,552	3,101	2,690					

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000788 家庭教育支援事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	家庭教育支援活動件数	目標	件	3500	3500	3500件	3500件
			実績			3322	4312	3491件
			単位コスト					
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果実績	家庭教育支援活動実施学校数	目標	校	31	31校	33校	33校
			実績			31校	33校	33校
			単位コスト					
			目標					
			実績					
単位コスト								

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		学力や家庭教育に課題のある児童生徒、並びにその保護者に対し相談・指導を行い児童生徒の学力向上および家庭力の向上を図る。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		家庭力を高め、児童生徒の環境の向上を図ることは、教育の基盤を整える上で有効。また、基礎学力定着に向けての支援と教育の機会均等を図るために有効。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		実質は教員の児童生徒宅までの旅費相当分である。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000789	AET配置活用事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	H28棚卸し(公開)			
根拠法令									
構成予算事業		会計		款		項		目	
620144	A E T 配置活用事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 株式会社 インタラック関西東海)								
	補助金 (補助先: )								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 小学校では、外国語活動におけるコミュニケーション能力の向上、中学校では英語教育の充実、小中学校を通じて国際化社会に対応できる人材の育成を図る。								
対象	(誰・何を対象に) 児童生徒								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 民間事業者との委託契約により、小中学校にAET(英語指導助手)7人を配置し、外国語活動、英語活動の指導補助を行う。 指導主事が小学校を訪問し、教員の英語指導力の向上と、AETの効果的な活用を促す。  委託料: AET配置(7人) 30,092千円								
関連事業	(同一目的事業等)								
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度			
		A	委託料	千円	30,092	30,092	30,092	26,500	
		報酬	千円	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0			
	小計	千円	30,092	30,092	30,092	26,500			
	B	人件費	千円	0	2,186	1,801	1,751		
総事業費(A+B)	千円	30,092	32,278	31,893	28,251				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	30,092	32,278	31,893	28,251				

# 計画事業評価表

計画事業		000789	AET配置活用事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		小学校へのAET配置率	目標	回	週1回程度	週1回程度	週1回程度	
			実績			週1回	週1回	週1回
			単位コスト					
		中学校へのAET配置率	目標	回	週2回程度	週2回程度	週2回程度	週2回
			実績			週2回	週2回	週2回程度
	単位コスト							
	成果実績	小学校への年間配置回数	目標	回	年35回	年35回	年35回	年35回
			実績			年32回	年28回	年28回
			単位コスト					
		中学校への年間配置回数	目標	回	年70回	年70回	年70回	年70回
			実績			年74回	年70回	年62回
単位コスト								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		第2期教育振興基本計画に基づき、異文化理解の精神を身につけて様々な分野で活躍できるグローバルな人材を育成するため、国際共通語である英語力を向上させることが必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		AETの配置により、外国語・外国文化に出会う機会をつくり、生徒が英語を使って積極的にコミュニケーションを図る必然性が生まれ、学習意欲や学びの質に大きな改善をもたらす。 また、教職員には、民間事業者が保有する外国語学習のノウハウをAETを介し獲得する機会となる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		民間委託により、AETの労務管理や教材研究の一部を担わせ、市職員及び教職員の負担軽減と経費節減を期待できる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) AETの活用方法(教材研究・授業配置・その他配置)の改善により、教育効果の拡大を図る。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000790	下村脩グランプリ事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
620255	下村脩グランプリ事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法			補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			2008年ノーベル化学賞を受賞した本市生まれの名誉市民・下村脩さんの功績を称え、次代を担う子どもたちに、困難に立ち向かい物事を探究し続けることが大切という博士の思いを継承し、理科心を育成し、子どもたちが研究を続けることで「かがく」の素晴らしさに気づき、将来の夢の一助となるよう実施する。							
対象 (誰・何を対象に)			児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			市学校教育振興会・教育委員会からなる推進委員会を組織し、博士の功績を伝えると共に、児童生徒から夏休みの作品を中心とする理科分野の研究作品をチラシにより募集。 作品の募集にあたっては、学校教育振興会理科部会の協力で博士の思いを伝えるとともに、審査や展示等市学校教育振興会、児童科学館の協力のもと行う。 入賞作品を三段池公園総合体育館に展示し、グランプリ・準グランプリ作品等優秀作品は表彰する。 需用費 : 記念品、参加賞代 147千円 役務費 : 賞状名入れ代 15千円 使用料及び賃借料 : 会場代 9千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	179	147	166	137
	役務費	千円	17	15	16	9
	使用料及び賃借料	千円	44	9	10	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	10
小計	千円	240	171	192	156	
B	人件費	千円	0	1,658	1,184	1,418
総事業費(A+B)		千円	240	1,829	1,376	1,574
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源		千円	240	1,829	1,376	1,574

# 計画事業評価表

計画事業		000790 下村脩グランプリ事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	委員会の開催	目標	回	1回	1回	1回	1回
		実績			1回	1回	1回
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	点	2500点	2000点	1500点	1500点
		実績			2477点	2474点	1851点
		単位コスト					
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																				
担当課評価	<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	ふるさとの素晴らしさを伝え、ふるさとへの愛着心を育てることは、夢と希望を持つ心を育て、豊かな人間性や社会性を育む観点から重要な教育である。																																				
	<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	ふるさとゆかりの人のノーベル化学賞という世界での貴重な偉業を伝えることは、学力意欲の向上、ふるさとへの愛着心の育成につながり、社会に活躍できる人材育成のため、重要である。																																				
	<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	本取り組みは、学校教育振興会の理科部会において重要な取り組みに位置づけられており、専門的な見地からの助言も有効となっている。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 学校園美術展と同時開催し、理科教育及び事業理解の拡大を図る。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000791	文武向上プラン学校支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(公開)			
根拠法令	文武向上プラン学校支援事業実施要綱									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620168	文武向上プラン学校支援事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
	補助金 (補助先: 各小中学校長 )									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		学校の自主性・自律性を尊重した各学校の課題に即応した文武向上プランの企画・実施により、知・徳・体の調和の取れた児童生徒を育成する。								
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>各学校で学校の課題に即応した文武向上プランを企画する。</p> <p>文の力：基礎学力の向上・学習意欲への取組・読書活動や各種検定への参加・漢字テスト等</p> <p>武の力：豊かな人間性をはぐくむ芸術鑑賞マラソン等体力や健康増進への取組</p> <p>補助金積算：児童生徒割・学校割・特認分</p> <p>検証委員会(学校教育課長・指導主事)で取組計画を審査し、特認校を内定する。</p> <p>教育委員会から最終的な認定内容により、補助金を支出する。</p> <p>部活動に社会人コーチを派遣し、競技力の向上を目指す。</p> <p>補助金：市から学校への補助金額 6,688千円</p> <p>役務費：保険加入 28千円</p> <p>報償費：部活動外部指導者謝金 680千円</p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	4,950	6,688	6,757	6,626
		報償費	千円	540	680	666	0
		役務費	千円	30	28	22	22
		報酬	千円	0	0	0	494
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	5,520	7,396	7,445	7,142	
	B	人件費	千円	0	1,495	1,495	945
	総事業費(A+B)	千円	5,520	8,891	8,940	8,087	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	2,760	3,684	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	2,760	5,207	8,940	8,087	

# 計画事業評価表

計画事業		000791	文武向上プラン学校支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	文武向上プラン推進検証委員会の開催回数	目標	回	4回	4回	4回	4回
			実績			2回	2回	2回
			単位コスト					
		事業実施校数(学力向上支援事業)	目標	校	31校			
			実績					
			単位コスト					
	事業実施校数(社会人コーチ派遣事業)	目標	校	9校				
		実績						
		単位コスト						
成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	1日30分以上勉強する割合	目標	パーセント	90.0パーセント	90.0パーセント	90.0パーセント	90.0パーセント	
		実績			87.0パーセント	90.2パーセント	89.6パーセント	
	社会人コーチ派遣回数	目標	回	370回	9校	9校	9校	
		実績			8校		6校	
	学校教育フェスティバル発表校数	目標	校	6校				
		実績						

事項		担当課評価			
担当課評価	<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	学力向上支援事業 一学校裁量予算による主体的な取組を促し、基礎学力を含む児童・生徒の「知・徳・体」のバランスのとれた子ども」の育成を図る。 社会人コーチ派遣事業 中学校部活動に効果的・専門的な指導を行い、合わせて教職員の負担軽減を図ることができる。			
	<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	学力向上支援事業 各学校において抱える課題に即応した文武向上策を、学校の自主性・自立性を尊重する中で実施し、文武の力を向上させるものであり、実態に応じたきめ細かな取り組みが実施できる。 社会人コーチ派遣事業 地域人材を活用することにより、学校経営に対して地域の理解の深化を図ることができ			
	<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	学力向上支援事業 検証委員会を設置し、学校が作成するプランの改善指導を行なうと共に、事業実施後の検証を行う。 このことにより、特徴的・効果的な取組については、伝達研修により効果の波及を図ることができる。			
	<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 本事業を学校経営戦略の一貫と位置づけ、自校の課題に即応した効果的なプランを策定し、結果に結び付けられるよう政策的な支援を継続する。 なお、取組内容の精査により、合同学習の実施を検討するなど、経費を削減しながら事業効果の維持を図る。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x	○		x
	縮小	x		x	x
休廃止			x	x	x
皆減 ○縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					



# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000794	指定校研究事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620194	指定校研究事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		学力の向上を始めとして、地域と連携した教育の在り方について京都府教育委員会の指定により、学校で調査研究を行うもの。京都府10/10事業								
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒・教師・保護者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		学力向上システム開発校(成仁小学校・六人部中学校) 土曜日を活用した教育のあり方実践研究指定校(成和中学校・三和中学校) 報償金: 講師謝礼 86千円 旅費: 研修旅費 125千円 需要費: 387千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	354	387	276	371
		旅費	千円	80	125	89	0
		報償費	千円	120	86	87	0
		報酬	千円	0	0	0	5
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	40	0	46	18
	小計	千円	594	598	498	394	
	B	人件費	千円	0	812	528	189
	総事業費(A+B)	千円	594	1,410	1,026	583	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	594	598	498	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	812	528	583	

# 計画事業評価表

計画事業		000794 指定校研究事業						
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
	研究指定校	目標	校	4校	4校	4校	5校	
		実績			4校	4校	5校	
		単位コスト						
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標名	目標	校	4校	4校	4校	5校	
		実績			4校		5校	
		単位コスト						
	成果実績	全国学力・学習状況調査結果(国語)概良好	目標	校	4校	4校	4校	5校
			実績			4校		5校
全国学力・学習状況調査結果(算数・数学)		目標	校	4校	4校	4校	5校	
		実績			4校		5校	
目標								
実績								

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		改革が進む教育分野において、先進的な研究指定校としての取組は、今後の示唆となるものであり、指導主事との連携のもと、取組成果を広め、学校の自立性や教職員の意欲の向上を図る。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		京都府教育振興プランに基づく、教育の多様化・地域の実情を踏まえた土曜日を活用した教育の実現、並びに質の高い学力の向上を図るため、子どもの実態を踏まえた指導の工夫や学校・地域・家庭の連携協働の強化に有効。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		研究指定による自校の課題に応じた取組によって、子どもの変容、学力状況等を把握することは、効率的な学校運営、教職員の意欲の向上につながる。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align:center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000796	学校音楽祭事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
620102	学校音楽祭事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		福知山市内の小学校・中学校の児童生徒がそれぞれ一堂に会し、日頃の音楽学習の成果を発表することにより、交流と研鑽を深める。							
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>学校音楽祭の開催に要する経費(会場料、児童生徒移送バス費用等)。          市立小学校全24校の6年生(学校によっては4~6年生)、市立中学校全9校の全学年(学校によっては特定学年または吹奏楽部)が参加する。          小学校の部と中学校の部に分けて、2日間、厚生会館で開催する。          平成18年度までは中学校の部のみ一般公開していたが、平成19年度から全て一般公開している。</p> <p>需用費: プログラム印刷等 37千円          委託料: 楽器運搬費等 270千円          使用料及び賃借料: 送迎バス借上料等 1,562千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	A	使用料及び賃借料	千円 1,620	1,562	2,190	0
		委託料	千円 308	270	411	233
		需用費	千円 41	37	34	51
		報酬	千円 0	0	0	0
		給料	千円 0	0	0	0
		職員手当等	千円 0	0	0	0
		共済費	千円 0	0	0	0
		災害補償費	千円 0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	1,327
	小計	千円 1,969	1,869	2,635	1,611	
	B	人件費	千円 0	712	712	1,045
	総事業費(A+B)	千円 1,969	2,581	3,347	2,656	
財源内訳		国支出金	千円 0	0	0	0
		府支出金	千円 0	0	0	0
		国・府支出金コメント				
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他特財	千円 0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円 1,969	2,581	3,347	2,656	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000796 学校音楽祭事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開催に向けて打ち合わせ会議の開催	目標	回	2	2	2	2
		実績			2	2	2
		単位コスト			934.500	1317.500	805.500
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	児童生徒の参加	目標	校	31	31	33	33
実績				31	33	33	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		音楽教育の振興と児童生徒に目標と達成感を持たせる場として必要である。また、学校教育の成果を市民へ公開する場としても活用している。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		児童生徒の創造力・表現力を育む観点から有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		児童生徒移送用バスの効率的な配車を検討する。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	000797	学校図書館機能充実事業								
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成26年度			<b>担当部名</b>	教育委員会			
<b>基本理念</b>	72	学校教育の充実				<b>担当課</b>	学校教育課			
<b>基本方針</b>	01	学力を充実・向上する				<b>新規継続区分</b>	継続事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	H28棚卸し（非公開）			
<b>根拠法令</b>										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
620169	学校図書館機能充実事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
<b>実施方法</b>		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )								
		補助金 ( 補助先: )								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)		学校図書館の活動を充実させるためには司書教諭の役割が重要不可欠であることから、活動しやすい体制を整備するため学校司書教諭を配置し、子どもの読書活動を進めていく。 平成26年度からは兼給食推進員は配置せず、中学校ブロックごとに1人の学校司書を配置した。 (兼務ではあるが、小・中学校全てに学校司書を配置)								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)		児童生徒								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		学校図書館活動に係わる校務(学校図書館の環境整備、授業に必要な図書資料の準備、学校図書館を利用した子どもの居場所づくりに関する業務補助など)に従事する学校司書を中学校ブロックごとに1人配置した。(ブロック内の学校数によって勤務時間が違う。) 9人 時間給:880円 賃金 5,481千円								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

		<b>単位</b>	<b>平成28年度</b>	<b>平成27年度</b>	<b>平成26年度</b>	<b>平成25年度</b>
<b>コスト</b>	A	賃金	千円 5,656	千円 5,481	千円 5,837	千円 0
		報酬	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		給料	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		職員手当等	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		共済費	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		災害補償費	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		恩給及び退職年金	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		報償費	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		旅費	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
		その他	千円 0	千円 0	千円 0	千円 9,065
	<b>小計</b>	千円 5,656	千円 5,481	千円 5,837	千円 9,065	
B	人件費	千円 0	千円 1,418	千円 1,419	千円 946	
<b>総事業費(A+B)</b>		千円 5,656	千円 6,899	千円 7,256	千円 10,011	
<b>財源内訳</b>	<b>国支出金</b>		千円 0	千円 0	千円 0	千円 9,065
	<b>府支出金</b>		千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
	国・府支出金コメント					
	<b>地方債</b>		千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
	<b>その他特財</b>		千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
地方債・その他特財コメント						
<b>一般財源</b>		千円 5,656	千円 6,899	千円 7,256	千円 946	

# 計画事業評価表

計画事業		000797 学校図書館機能充実事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	学校司書配置校	目標	校	31	31	33	33
		実績			31	33	33
		単位コスト			176.806	176.879	274.697
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	子ども一人当たり読書冊数	目標	冊			120	110
実績					126	125	
児童・生徒一人当たり蔵書冊数	目標	冊	35	34			
	実績			32			
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		司書教諭は専任ではなく、学級担任等を兼ねており、学校図書館の仕事に十分な時間を取ることができない現状がある。各学校に学校司書を配置することにより、学校図書館の活動を充実させ子どもの読書活動を進める必要があった。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		休み時間等に図書館に通う子どもが増加し、一人当たりの蔵書冊数も増やしている。学校司書が学校図書館の本の配置や整理を行い、子どもたちが本への興味が持てるような工夫がされている。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		学校司書の配置については、中学校ブロックに各1名を配置した。学校司書の勤務時間については、ブロック内の小・中学校数に合わせて設定した。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000798	教育活動指導援助事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
620132	教育活動指導援助事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 (補助先: 教育研究グループ )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		教職員の自主的な教育研究活動に要する費用の一部を負担することにより、教員の意欲・指導力・授業力を向上させる。 また、研究成果の周知により、効果の波及を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		教職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		各種学校教育研究活動の実施・推進するため、各種研究グループの活動を支援する。 報償費 : 講師謝礼 130千円 旅費 : 出張旅費 81千円 需用費 : 物品購入、記念品 659千円 役務費 : 看板借上 20千円 委託料 : スクールバス運行 287千円 使用料及び賃借料 : 施設使用、修学旅行引率費 440千円 負担金補助及び交付金 : 教育研究会負担金 626千円 内包する主な予算事業 福知山市学校教育振興会活動助成 学校教育フェスティバルの開催 教育研究大会(講演会)の開催							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	3,926	659	3,176	2,151
		負担金補助及び交付金	千円	538	626	779	882
		使用料及び賃借料	千円	606	440	972	0
		委託料	千円	201	287	248	231
		報償費	千円	272	130	104	0
		旅費	千円	120	81	39	0
		役務費	千円	40	20	0	0
		報酬	千円	0	0	0	59
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	30	554
	小計	千円	5,703	2,243	5,348	3,877	
	B	人件費	千円	0	4,605	4,605	2,903
	総事業費(A+B)	千円	5,703	6,848	9,953	6,780	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	662	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,703	6,848	9,291	6,780	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000798 教育活動指導援助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	学振研究部の平均活動回数	目標	回	12	12	12	12
		実績			10	10	10
		単位コスト				534.800	387.700
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	件	7	7	7	7
		実績			6	5	5
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
単位コスト							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		教員の意欲・指導力・授業力を向上させるために必要である。 また、研究成果の周知により、効果の波及を図る。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		教員が選択した課題設定と解決手法の検討により、主体的な活動が期待できる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		活動報告等により、研究成果の波及が期待できる。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×			○	維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)			
成果の方向性	拡充		×			○																																
	維持		×			×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						



# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000799	学校美術展事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
620157	学校美術展事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )							
		補助金 ( 補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		本市立幼稚園・小学校・中学校の園児児童生徒が図工美術・毛筆書写教育の日頃の努力の成果を発表し、技術の向上を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		園児、児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		学校(園)美術展の開催に要する経費。 絵画・毛筆書写の入選作品、及び幼稚園・特別支援学級の作品を10月下旬の土・日・月曜日の3日間、三段池公園総合体育館で展示する。 需用費 : 物品購入、記念品代、賞状印刷 257千円 役務費 : 賞状名入れ、クリーニング 44千円 使用料及び賃借料 : 会場代、看板借上げ 257千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	266	257	490	250
	使用料及び賃借料	千円	343	257	314	0
	役務費	千円	19	44	40	33
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	137	317
小計	千円	628	558	981	600	
B	人件費	千円	0	1,185	1,185	1,095
総事業費(A+B)		千円	628	1,743	2,166	1,695
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	628	1,743	2,166	1,695

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000799 学校美術展事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	運営委員会開催数	目標	回	3	3	3	3
		実績			3	2	3
		単位コスト			186.000	490.500	200.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
美術展入場者数	目標	人	5500	4500	4,500	4,500	
	実績			5456	4954	4,189	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	幼稚園、小学校、中学校の園児、児童生徒が図画工作・美術、毛筆書写教育の日頃の努力の成果を発表する機会として必要である。また、学校教育の成果を市民に公開する場としても活用している。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	園児、児童生徒の創造力・表現力を育む観点から有効である。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	書写、図画工作、美術の教科指導に役立っている。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	000800	教育関係研究大会運営事業								
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成1年度			<b>担当部名</b>	教育委員会			
<b>基本理念</b>	72	学校教育の充実				<b>担当課</b>	学校教育課			
<b>基本方針</b>	01	学力を充実・向上する				<b>新規継続区分</b>	継続事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施			
<b>根拠法令</b>										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
620180	教育関係研究大会運営事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
<b>実施方法</b>		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
<b>実施方法</b>		直接実施								
<b>実施方法</b>		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )								
<b>実施方法</b>		補助金 ( 補助先: 研究発表会実施校 )								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)		小学校・中学校の教育研究の発表の場として、本市の積極的な研究実践をアピールするとともに、府内の教職員が各地の取組を交流し、授業のあり方を向上させる。								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)		教職員								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		京都府小学校教育研究会・京都府中学校教育研究会の最大の研究発表の場として、毎年府内各地域持ち回りで開かれている研究大会の開催にあたり、負担金を支出する。平成27年度は福知山市での開催はなかったが、平成28年度には、市内の小中学校2校で大会開催予定。								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	140	0	140	70
	<b>小計</b>	千円	140	0	140	70
B	人件費	千円	0	340	340	145
	<b>総事業費(A+B)</b>	千円	140	340	480	215
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	<b>一般財源</b>	千円	140	340	480	215

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000800 教育関係研究大会運営事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	指導主事による指導回数	目標	回	6	6	6	6	
		実績		0	5	5		
		単位コスト				28.000	14.000	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		研究大会参加者数	目標	人	200	200	250	250
			実績		0	200	150	
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都府全体の教育水準を向上させる上で有効な手立ての一つである。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		他市、他校の教育実践に学び、教育力の向上を図る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		教職員の資質向上に役立っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000801	まなびのつながり強化推進事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
620189	まなびのつながり強化推進事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: 中学校ブロック代表校 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		小学校、中学校9年間を一貫的にとらえ、発達段階に応じた一貫・連携教育を実践する。同時に、小中学校が保育所、幼稚園、高等学校や地域社会などとも連携することにより、子どもたちの学力や個性が伸長し、生徒指導上の課題が減少し、結果として希望進路の実現をめざす。							
対象 (誰・何を対象に)		幼児、児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>小中連携の基盤としての小中連携(小学校同士の「合同の教科学習」や「合同の見学・体験等の取組」等)を「バスを活用する」等の方法で実施している。また、「ブロック補助金の活用」や「バスを活用する」ことで、小中合同の体育的活動・文化的活動・体験的活動等の合同行事を実施している。</p> <p>また、「ブロック補助金」は、先進校視察・研究会講師の招聘の費用や小中合同の家庭学習の手引きや家庭学習ドリル等の作成に活用している。</p> <p>賃金：コーディネーター賃金 1,390千円          報償費：謝礼 150千円          需用費：消耗品費 18千円          役務費：郵送料 112千円          委託料：スクールバス運行 999千円          負担金補助及び交付金：市から学校への補助金額 825千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	1,325	1,390	1,359	0
		委託料	千円	891	999	656	0
		負担金補助及び交付金	千円	825	825	1,125	2,160
		報償費	千円	0	150	142	0
		役務費	千円	97	112	97	49
		需用費	千円	10	18	83	0
		報酬	千円	0	0	0	98
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	8	1,322
	小計	千円	3,148	3,494	3,470	3,629	
B	人件費	千円	0	548	548	643	
総事業費(A+B)		千円	3,148	4,042	4,018	4,272	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	161	412	159	125	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	2,987	3,630	3,859	4,147		

# 計画事業評価表

計画事業		000801	まなびのつながり強化推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	校種間連携活動回数(保幼小)	目標	回	80	66	60	90
			実績			77	80	78
			単位コスト			45.377	43.375	46.526
		校種間連携活動回数(小小・小中)	目標	回	75	70	125	115
			実績			80	65	80
			単位コスト			43.675	53.385	45.363
	校種間連携活動回数(小高)	目標	回	45	45	85	85	
		実績			44	76	83	
		単位コスト			79.409	45.658	43.723	
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
成果実績	小4授業外の勉強時間が平均1日30分未満	目標	%	9.0	9.2	9.5	6.5	
		実績			7.0	9.5	10.0	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		各中学校ブロックの保幼小中、また家庭・地域社会・学校(園)をつなぎ、福知山市保幼小中一貫・連携教育(シームレス学園構想)の中核となる事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		小1プロブレムや中1ギャップの解消、学力と指導力の向上、生徒指導上の課題の減少、地域との連携や開かれた学校づくりに有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		校種間連携活動の手段としてスクールバスを活用しているため、実施時間に制約がある。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 保育園(所)・幼稚園期から小学校教育プログラムへのスムーズな接続を図るため、中学校ブロックにおける保幼小連携強化を進める。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

計画事業	000806 小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会				
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課				
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	学校教育法										
	構成予算事業			会計	款	項	目				
620107	小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業			01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業			
		直接実施									
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
		補助金 (補助先: )									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	経済的理由により就学が困難と認められる児童の金銭面による不就学を防ぐ。 特別支援学級への就学に必要な経費のうち全部又は一部を支給し保護者負担を軽減することにより安定した就学状態をつくる。										
対象 (誰・何を対象に)	児童の保護者										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	小学校に在籍している児童の保護者が要保護(生活保護受給者)及びこれに準ずる程度(準要保護。生活保護基準の1.5倍)に困窮し、児童の就学に支障をきたす場合、必要な経費を支給する。 特別支援学級への就学のため必要な経費の全部または一部を保護者に支給する。 扶助費 52,768千円										
関連事業 (同一目的事業等)	中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	扶助費	千円	55,209	52,768	52,484	55,358
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	55,209	52,768	52,484	55,358	
	B	人件費	千円	0	2,175	1,840	1,418
	総事業費(A+B)	千円	55,209	54,943	54,324	56,776	
財源内訳		国支出金	千円	645	558	580	708
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	54,564	54,385	53,744	56,068	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000806 小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	制度の周知回数	目標	回	2	2	2	2
		実績			1	1	1
		単位コスト			52768.000	52484.000	55358.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人				
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	不就学児童数 (経済的理由による)	目標	0	0	0	0
			実績		0	0	0
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		児童の就学を保障するために必要な事業である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		昨今の経済状況から年々申請者が増加している。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		就学援助システムを活用することより事務処理の効率化を図る。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性									
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000807	中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課				
基本方針	01	学力を充実・向上する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	学校教育法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620108	中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業		01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			経済的理由により就学が困難と認められる生徒の金銭面による不就学を防ぐ。特別支援学級への就学に必要な経費のうち全部又は一部を支給し保護者負担を軽減することにより安定した就学状態をつくる。							
対象 (誰・何を対象に)			生徒の保護者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			中学校に在籍している児童生徒の保護者が要保護(生活保護受給者)及びこれに準ずる程度(準要保護。生活保護基準の1.5倍)に困窮し、生徒の就学に支障をきたす場合、必要な経費を支給する。特別支援学級への就学のため必要な経費の全部または一部を保護者に支給する。 扶助費 50,763千円							
関連事業 (同一目的事業等)			小学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業							

コスト	A	扶助費	千円	平成28年度	56,243	平成27年度	50,763	平成26年度	52,470	平成25年度	48,694
		報酬	千円	0	0	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
小計	千円	56,243	50,763	52,470	48,694						
B	人件費	千円	0	1,891	1,600	1,418					
総事業費(A+B)	千円	56,243	52,654	54,070	50,112						
財源内訳	国支出金	千円	939	1,016	1,077	691					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	55,304	51,638	52,993	49,421						

# 計画事業評価表

計画事業		000807 中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	制度の周知回数	目標	回	2	2	2	2
		実績			1	1	1
		単位コスト			50763.000	52470.000	48694.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	0	0	0	0
		実績			0	0	0
		単位コスト					
	不就学生徒数 (経済的理由による)	目標					
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		生徒の就学を保障するために必要な事業である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		昨今の経済状況から年々申請者が増加している。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		就学援助システムの活用により事務処理の効率化を図る。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000922	中丹地区教科用図書採択委員会負担金							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	新規事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
620186	中丹地区教科用図書採択協議会負担金	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		教科書の採択にあたり、共同採択地区内の市町村教育委員会は、採択地区協議会を設け、採択する教科書について協議を行わなければならない。本市は、綾部市、舞鶴市と採択協議会を組織し、本市の教育に適した教科用図書の採択に向けた協議を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		中丹地区教科用図書採択協議会							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		教科書採択年に組織される教科用図書採択協議会の開催にあたり、負担金を支出する。 負担金補助及び交付金 103千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	0	103	54	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	0	103	54	0
		B	人件費	千円	0	945	946
総事業費(A+B)	千円	0	1,048	1,000	0		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	0	1,048	1,000	0		

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000922 中丹地区教科用図書採択委員会負担金					
事業実績と成果	活動指標名 教科用図書採 択協議会開催 回数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		目標	回	3	3	3	
		実績			3	3	
	単位コスト			34.333	18.000		
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名 採択教科書科 目数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		科目	0	15	11		
	目標						
	実績			15	11		
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		小中学校義務教育課程を担う教科用図書の採択を円滑に行うための協議会であり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律で設置を義務付けられているため、必要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		教育活動に適した教科用図書の採択は、教育の発展と学力の充実に資する。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		協議会を組織する綾部市・舞鶴市・福知山市で協議し、適切な負担割合になるよう負担金の額を決定する。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align:center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000934	グローバル人材育成事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	01	学力を充実・向上する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620195	グローバル人材育成事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			教育課程特例校の指定を受けた夜久野小中学校において、「英会話コミュニケーション科」を設置し、小学1年生から9年生まで年間35時間の英語の授業を行い、グローバルな社会を生き抜くことのできる力の育成を図るとともに、成果を市内の学校に広める。							
対 象 (誰・何を対象に)			児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			必要物品を購入し、英語の授業を実施するための環境整備を行うとともに、教師の授業力の向上を図るための研修を実施する。 報償費 50千円 需用費 130千円 備品購入費 41千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	50	130	115	0
	報償費	千円	50	50	150	0
	備品購入費	千円	0	41	34	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	116	0
	小計	千円	100	221	415	0
B	人件費	千円	0	403	1,185	0
	総事業費(A+B)	千円	100	624	1,600	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	100	624	1,600	0

# 計画事業評価表

計画事業		000934 グローバル人材育成事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	AET配置	目標	100	100	100	
		実績		100	100	
		単位コスト		2.210	4.150	
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	児童英検の結果	目標	概ね良好	概ね良好	概ね良好	
		実績		概ね良好	概ね良好	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	教育課程特例校の指定により、英語を中心とする先進的な取り組みを実施し、社会のリーダーとなりうる人材の育成を図ることは、本市の教育をリードする人材の育成につながる																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	本市の将来を担う社会のリーダーとなる人材の育成が図れ、本市の発展に寄与することができる。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	3年間を限定した事業であり、成果を市内の学校に広めることができる。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						B 改善(事業の進め方等に改善が必要)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○		×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001041	福知山市立小中学校教職員組織体制			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会
基本理念	72	学校教育の充実		担当課	学校教育課
基本方針	01	学力を充実・向上する		新規継続区分	新規事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	棚卸し未実施
根拠法令					
構成予算事業		会計	款	項	目
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業
	直接実施				
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )				
	補助金 (補助先: )				
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	市立小中学校の円滑な運営のため、教職員配置検討、教員免許確認事務、サービス管理を行う。				
対象 (誰・何を対象に)	福知山市立小中学校教職員				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	教職員人事 サービスに関する指導 教職員免許更新に係る事務				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	0	0	0
	人件費	千円	0	11,913	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	11,913	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	11,913	0	0

# 計画事業評価表

計画事業		001041 福知山市立小中学校教職員組織体制						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		教員免許更新講習受講確認	目標	回	1	1		
			実績			1		
			単位コスト			0.000		
		人事担当者会議	目標		2	2		
			実績			2		
	単位コスト				0.000			
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		教員免許更新講習未受講者	目標	回	0	0		
			実績			0		
		目標						
		実績						
目標								
実績								

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	福知山市立小中学校現場における業務適正化のため、教職員の状況を考慮した人事配置検討。 教員免許制度の維持。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	適正な教員免許制度の運用。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	福知山市立小中学校教職員の負担を軽減しつつ業務適正化に貢献する。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001052	指導主事の設置			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会
基本理念	72	学校教育の充実		担当課	学校教育課
基本方針	01	学力を充実・向上する		新規継続区分	継続事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	棚卸し未実施
根拠法令					
構成予算事業		会計	款	項	目
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業
	直接実施				
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )				
	補助金 (補助先: )				
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	福知山市における教育の指針の検討をする。 指導主事の巡回学校訪問により、教員の授業力向上を図るとともに、様々な学校課題を把握し、解決に必要な助言を行う。 併せて学校・行政が行う人材育成事業等について必要な助言を行う。				
対象 (誰・何を対象に)	福知山市立幼小中学校				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	市指導主事の派遣により、幼稚園・小中学校における課題を適切に把握し、必要な助言を行うとともに、解決にむけた対策(事業)を検討・実施する。 また、学校・行政が行う様々な人材育成事業等において必要な助言・指導を行なう。 学校教育全般に関する指導・助言 教育の重点の策定 教育課程の編成承認 学力・学習状況調査の実施 いじめ調査及び解消に関する指導・助言 児童虐待防止に関する指導・助言 適応指導事業に関する指導・助言				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	0	0	0
	人件費	千円	0	13,017	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	13,017	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	13,017	0	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		指導主事の設置				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	派遣回数	目標	80回	70回		
		実績		70回		
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績		目標				
		実績				
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	学校現場と行政の橋渡しとなり、学校運営上のトラブルの早期改善や、教員の指導力向上を図る。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	指導主事の定期派遣により、教員の指導力向上が図られるほか、学校課題を把握し、経験を踏まえた組織的な課題解決手法を提案することができた。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	指導主事の巡回訪問により学校課題を把握することができ、適切に対策(事業)を検討・実施することができた。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						B 改善(事業の進め方等に改善が必要)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×			×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000785	小学校移動教室事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成3年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	移動教室実施要項								
構成予算事業			会計	款	項	目			
620235	小学校移動教室事業	01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		規律ある集団宿泊生活を通じて、児童同士のふれあいを深めるとともに、基本的な生活習慣や公衆道徳体験を積み、自立心を育成する。また、恵まれた自然環境の中での野外活動を通じ、心身の健康増進を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>小学校5年生を対象にした宿泊体験学習に要する経費として、年間指導計画への位置づけを明確にした教科等の授業を含む活動を、市内宿泊研修施設を利用して実施する場合、2泊3日を限度に負担する。</p> <p>           報償費 : 看護師、夜間指導員、記述指導講師報酬 151千円            需用費 : 市バス燃料代、宿泊時の児童・教職員食糧代 489千円            使用料及び賃借料 : 宿泊時の宿泊代及び借上げバス代 1,037千円         </p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		使用料及び賃借料	千円	0	1,037	1,196	0
		需用費	千円	0	489	741	743
		報償費	千円	0	151	171	0
		報酬	千円	0	0	0	241
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,131
		小計	千円	0	1,677	2,108	2,115
		B 人件費	千円	0	284	284	284
総事業費(A+B)	千円	0	1,961	2,392	2,399		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	190	278	279	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源	千円	0	1,771	2,114	2,120		

# 計画事業評価表

計画事業		000785 小学校移動教室事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	市内の宿泊研修施設利用校数	目標	校		5校	5校	5校	
		実績			3校	5校	5校	
		単位コスト						
		目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標名	参加人数		人	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標	210人		210人	210人		
		実績	130人	130人	202人			
		目標						
		実績						
目標								
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		児童の心身の健康増進並びに集団生活で規律を養うとともに、ふるさとの自然と触れ合い豊かな心を育む。また、市内研修宿泊施設を対象としており施設の利用促進を図る。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域の自然の中での体験や宿泊を伴う集団活動は、普段の生活の中では得がたい体験を与え互いに思いやって集団の活動を行う態度の育成に有効。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		学校と施設や補助員との橋渡しになっており、事務が煩雑。活用する小学校も年々少なくなっており平成26年度は3校となり、効果的な事業の実施を検討する必要あり。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大
		市内宿泊施設での実施校が年々減少しており、市外宿泊施設での実施校が増加している。そのため、市の移動教室事業は廃止し今後は、事業統合しスクールバス等の活用により事業を実施する。			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000786	入学一時金支給事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	入学一時金支給要綱								
構成予算事業			会計	款	項	目			
620231	入学一時金支給事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		修学意欲がありながら、経済的理由により、修学が困難な高校生や大学生等に支度金を支給することにより、人材の育成を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		高校生・大学生・専門学校生等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		生活保護基準の1・5倍という所得基準を設け、修学希望の高校生・大学生等へ入学支度金を支給する。 役務費：郵送料 6千円 扶助費：入学一時金 2,126千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	扶助費	千円	1,160	2,120	1,655	0
		役務費	千円	9	6	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,950
	小計	千円	1,169	2,126	1,655	1,950	
	B	人件費	千円	0	1,891	1,513	1,513
	総事業費(A+B)	千円	1,169	4,017	3,168	3,463	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,169	4,017	3,168	3,463	

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000786 入学一時金支給事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	入学一時金支給回数	目標	回	2回	2回	2回	2回
		実績			2回	2回	2回
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
入学一時金受給者	目標	人	50人	50人	50人	50人	
	実績			75人	56人	40人	
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		経済的理由により修学が困難な高校生・大学生等に入学時に入学支度金を支給し、次代を担う人材の育成を図り、進路展望を切り開くために必要。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本事業は、本市独自の支援事業であり、入学一時金の支給により自己実現できる力や社会貢献できる人材を育成する。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		2次まで申請を受け付け、より多くの人に受給してもらう。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×	○		×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

# 計画事業評価表

計画事業	000792	心の安定基地づくり推進事業																																
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成21年度			担当部名	教育委員会																											
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課																											
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業																											
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業																											
施策						自由区分3	棚卸し未実施																											
根拠法令																																		
構成予算事業			会計	款	項	目																												
620229	心の安定基地づくり推進事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費																									
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業																												
実施方法		直接実施																																
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )																																
実施方法		補助金 (補助先: 宿泊体験学習参加者 )																																
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		不登校傾向の児童生徒の実態を把握し、総合的に教育相談や集団への適応力を培うための適切な指導や援助を行い、児童生徒の学校復帰や進路実現に取り組む。																																
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒・保護者																																
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>不登校傾向の児童生徒が通級する適応指導教室「けやき広場」と臨床心理士・教育相談員による保護者・子どもを対象に教育相談を実施する教育相談室の運営                      不登校傾向に早期対応し通学を促すため不登校対策コーディネーターの配置と訪問指導員を学校配置並びに家庭をつなぐ訪問専門指導員の配置。</p> <table border="0"> <tr> <td>賃金</td> <td>: 訪問指導員賃金</td> <td>2,748千円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>: 臨床心理士代、講師謝礼</td> <td>3,644千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>: 臨床心理士旅費、出張旅費</td> <td>367千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>: 物品購入代、花土代</td> <td>89千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>: 電話代</td> <td>294千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>: バス運行代</td> <td>9千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>: 複写機使用料、高速代、駐車場代</td> <td>138千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>: 宿泊学習補助</td> <td>31千円</td> </tr> </table>									賃金	: 訪問指導員賃金	2,748千円	報償費	: 臨床心理士代、講師謝礼	3,644千円	旅費	: 臨床心理士旅費、出張旅費	367千円	需用費	: 物品購入代、花土代	89千円	役務費	: 電話代	294千円	委託料	: バス運行代	9千円	使用料及び賃借料	: 複写機使用料、高速代、駐車場代	138千円	負担金補助及び交付金	: 宿泊学習補助	31千円
賃金	: 訪問指導員賃金	2,748千円																																
報償費	: 臨床心理士代、講師謝礼	3,644千円																																
旅費	: 臨床心理士旅費、出張旅費	367千円																																
需用費	: 物品購入代、花土代	89千円																																
役務費	: 電話代	294千円																																
委託料	: バス運行代	9千円																																
使用料及び賃借料	: 複写機使用料、高速代、駐車場代	138千円																																
負担金補助及び交付金	: 宿泊学習補助	31千円																																
関連事業 (同一目的事業等)																																		

事業計画額	A	報償費	千円	平成28年度	3,880	平成27年度	3,644	平成26年度	3,452	平成25年度	0
		賃金	千円	2,445	2,748	2,684	0				
		旅費	千円	536	367	308	0				
		役務費	千円	348	294	336	342				
		使用料及び賃借料	千円	144	138	133	0				
		需用費	千円	142	89	174	92				
		負担金補助及び交付金	千円	160	31	37	12				
		委託料	千円	18	9	18	15				
		報酬	千円	0	0	0	3,622				
		その他	千円	30	0	20	3,393				
小計		千円	7,703	7,320	7,162	7,476					
B	人件費	千円	0	16,168	14,134	14,448					
総事業費(A+B)		千円	7,703	23,488	21,296	21,924					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	86					
	府支出金	千円	3,851	1,771	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源		千円	3,852	21,717	21,296	21,838					

# 計画事業評価表

計画事業		000792 心の安定基地づくり推進事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	訪問指導員の のべ月活動回 数	目標	回	64	64	64	64	
		実績			63	64	61	
		単位コスト						
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		不登校出現率 の減少	目標	%	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下
			実績			達成	達成	達成
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		家庭状況等の児童生徒を取り巻く課題の中で、進路を切り拓き、社会で活躍できる心身ともに健やかな子どもの育成を図るための居場所づくりと、本市の不登校の実態を把握・分析し、適切で効果的な対応を検討する。このため総合対策事業として教育相談や適応指導			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		教育相談・適応指導教室・不登校対策と個々の取り組みであったが、連携して効果的な取り組みとするため、23年度までに総合対策事業とした。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		個々に応じた継続的な取組が必要であり、教育相談等と連携した決め細やかな取組を継続する。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
事務事業の方向性の組み合わせ					
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000793	いじめ根絶対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	いじめ防止対策推進法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620402	いじめ根絶対策事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 株式会社 システムブレーン)								
		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		命に関わる事件につながるいじめ問題に対応し、自他の命の大切さを見つめなおし、社会全体でいじめ等人権侵害を根絶する取り組みを実施する。								
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		子どもたちを取り巻くいじめ問題、特にネットトラブル防止を目的とする講演会をPTAや保護者向けに開催。また、11月をいじめ根絶月間とし、学校を中心とした取組を行い、チラシを作成し広く周知。 報償費 : 手話通訳代 29千円 需用費 : 物品購入代 90千円 役務費 : 郵送料 1千円 委託料 : 講師委託料 118千円 使用料及び賃借料 : 看板借上げ代 22千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	0	118	408	0
		需用費	千円	200	90	62	6
		報償費	千円	530	29	180	0
		使用料及び賃借料	千円	27	22	0	0
		役務費	千円	50	1	23	0
		報酬	千円	225	0	0	25
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	91	0	0	695
	小計	千円	1,123	260	673	726	
	B	人件費	千円	0	1,941	2,414	2,060
	総事業費(A+B)	千円	1,123	2,201	3,087	2,786	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	726	
	府支出金	千円	0	249	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	1,123	1,952	3,087	2,060	

# 計画事業評価表

計画事業		000793 いじめ根絶対策事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	講演校数	目標	校	9校		10校	7校
		実績				9校	7校
		単位コスト					
	参加者数	目標	人	300人	300人	400人	580人
		実績			300人		596人
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
参加者の評価率(アンケートから)	目標	%	100パーセント	100%	100パーセント	100パーセント	
	実績			おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		各校での人権学習に加え、昨今の社会情勢からいじめはどこでも場所を問わず起きる可能性がある。対応には、地域社会や家庭、一体となった取り組みが必要である。保護者理解や家庭教育に結びつくよう取り組みを行う。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		児童生徒の意識を変える手段として、講師等の体験等から直接訴えることは有効。保護者を巻き込むことによっていじめはいけないという社会の風土を形成することができる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		学級単位等での取り組みは有効。京都府の自殺対策補助金を活用。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)</b> 最新のネット被害事象や市内小中学校でのいじめ防止の取組みを保護者・学校・地域に周知することにより、いじめ根絶の意識付けを図った。 今後も取組み継続に加え、研修会への更なる参加を促すため、広報手法の改善を図る。			
成果の方向性	拡充	x			○
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000795	スクールカウンセラー活用事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620239	スクールカウンセラー活用事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		不登校をはじめとする教育相談にスクールカウンセラー(臨床心理士)が応じ、学校における教育相談機能の充実を図る。スクールカウンセラーの配置は京都府費により行われるため、学校での活用にかかる費用を支出。								
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒・教師・保護者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		スクールカウンセラーの任用事務、事業の取りまとめ事務を行う。また、学校における教育相談活動実施に必要な電話代等経費を支出。 通信運搬費：電話代 310千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	役務費	千円	467	310	294	291
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	467	310	294	291
B	人件費	千円	0	1,608	1,607	1,607
総事業費(A+B)		千円	467	1,918	1,901	1,898
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源		千円	467	1,918	1,901	1,898

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000795 スクールカウンセラー活用事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	配置校数	目標	校	12校	12校	11校	11校
		実績			12校	11校	11校
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	回	2回	2回	2回	2回
		実績			2回	2回	2回
		単位コスト					
市スクールカウンセラー連絡協議会の開催	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		スクールカウンセラーの配置は、児童生徒が安心して学校に通えるために必要であり、さまざまな子どもたちを取り巻く課題に自校の身近なカウンセラーと信頼関係をつくって精神的なサポート体制を構築することが必要。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		社会的事象とも連動して、複雑化し、継続性が求められる相談活動において、専門的な見地からの支援や助言は児童生徒や保護者・学校の大きな支えとなっている。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		カウンセラーの配置は京都府事業で行われており、学校での効果的な活動に要する費用(通信費)を計上。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)				
成果の方向性	拡充	×				
	維持	×	○			×
休廃止	縮小	×		×	×	
	皆減		×	×	×	
コスト投入の方向性		縮小 維持 拡大				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000810	体育・文化振興事業															
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度			担当部名	教育委員会										
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課										
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業										
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業										
施策						自由区分3	棚卸し未実施										
根拠法令																	
構成予算事業			会計		款		項		目								
620202	体育・文化振興事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費								
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業											
		直接実施															
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )															
		補助金 (補助先: 中学校体育連盟 )															
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		小中学校の体育の円滑な運営と運動部活動の充実と発展、競技スポーツの特性に触れさせながら、意欲・関心を高め心身の健全な発達とあわせて競技力の向上を図る。															
対象 (誰・何を対象に)		児童・生徒															
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>中学校の各種体育大会への選手派遣に対する補助及び体育大会会場使用料等の経費支出。          主として旧三町小中学校の各種大会参加時に要する経費。          スクールバス特別運行及び借上バスに要する運転業務委託料。          スクールバス使用不可時のバス借上げ料。</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費(燃料費)</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>委託料(バス運転委託料)</td> <td>2,263千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>492千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>3,505円</td> </tr> </table>								需用費(燃料費)	8千円	委託料(バス運転委託料)	2,263千円	使用料及び賃借料	492千円	負担金補助及び交付金	3,505円
需用費(燃料費)	8千円																
委託料(バス運転委託料)	2,263千円																
使用料及び賃借料	492千円																
負担金補助及び交付金	3,505円																
関連事業 (同一目的事業等)		平成25年度より中学校各種体育大会派遣事業と統合															

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	2,688	3,505	2,510	2,624
		委託料	千円	1,923	2,263	1,884	1,961
		使用料及び賃借料	千円	503	492	695	0
		需用費	千円	4	8	11	4
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	38	0	0	311
		小計	千円	5,156	6,268	5,100	4,900
財源内訳	B	人件費	千円	0	1,040	1,040	1,040
		総事業費(A+B)	千円	5,156	7,308	6,140	5,940
		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
財源内訳	C	その他特財	千円	0	0	0	0
		地方債・その他特財 コメント					
		一般財源	千円	5,156	7,308	6,140	5,940

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000810 体育・文化振興事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		大会校数	校	31	31	33	33	33	33
				202.194	154.545	148.485			
近畿大会出場校数	校	1	1	1	1	2	2	2	
				6268.000	2550.000	2450.000			
成果指標名		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
大会回数	回	5	5	5	5	5	5	5	
近畿大会出場人数	人	2	2	2	2	2	2	2	

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		子どもたちが体育大会へ安全に参加するために、交通手段を確保することは必要。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		発達段階に応じた各種体育大会に参加することにより、基礎的な体力形成と競技力の向上を図る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		財源活用の面は難しい。コスト削減に努めるとともに、事業の効果が高められるようにしていきたい。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 子ども達が体育大会へ安全に参加できるよう交通手段を確保することは重要である。保護者の負担軽減、基礎体力向上の一環として体育大会出場を目標として努力する子ども達への支援及び大会現場での安全の確保による看護師派遣等を行う。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000811	学校保健事業															
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成1年度		担当部名		教育委員会									
基本理念		72	学校教育の充実		担当課		学校教育課											
基本方針		02	心身ともに健やかな子どもを育成する		新規継続区分		継続事業											
施策の大綱					実施計画区分		実施計画事業											
施策					自由区分3		棚卸し未実施											
根拠法令																		
構成予算事業			会計		款		項		目									
620215	学校保健事業	01	一般会計		10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費								
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業												
		直接実施																
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )																
		補助金 (補助先: 福知山市学校保健会 各学保健会 )																
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		学校保健の研究と普及向上を図り、児童生徒及び教職員の健康で安全な学校生活をつくりあげる。																
対象 (誰・何を対象に)		園児、児童生徒及び教職員、保護者																
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>学校保健会事業を中心に小・中学校の保健管理、体育活動の推進を図るための経費。          学校保健会の開催、保健衛生対策委員会の開催          学校保健研究大会の開催</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬(委員報酬)</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td>需用費(燃料費、消耗品費)</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料(自動車借上料)</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>1,281千円</td> </tr> </table>									報酬(委員報酬)	24千円	需用費(燃料費、消耗品費)	10千円	使用料及び賃借料(自動車借上料)	18千円	負担金補助及び交付金	1,281千円
報酬(委員報酬)	24千円																	
需用費(燃料費、消耗品費)	10千円																	
使用料及び賃借料(自動車借上料)	18千円																	
負担金補助及び交付金	1,281千円																	
関連事業 (同一目的事業等)																		
コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度												
		負担金補助及び交付金	千円	1,110	1,281	1,328	1,246											
		報酬	千円	56	24	48	24											
		使用料及び賃借料	千円	120	18	9	0											
		需用費	千円	118	10	8	6											
		給料	千円	0	0	0	0											
		職員手当等	千円	0	0	0	0											
		共済費	千円	0	0	0	0											
		災害補償費	千円	0	0	0	0											
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0											
		その他	千円	5	0	13	61											
		小計	千円	1,409	1,333	1,406	1,337											
		B 人件費	千円	0	4,255	4,254	5,389											
総事業費(A+B)	千円	1,409	5,588	5,660	6,726													
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0											
		府支出金	千円	0	0	0	0											
		国・府支出金コメント																
		地方債	千円	0	0	0	0											
		その他特財	千円	0	0	0	0											
地方債・その他特財コメント																		
一般財源	千円	1,409	5,588	5,660	6,726													

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000811 学校保健事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	学校保健研究大会の参加者	目標	人	250	250	250	250
		実績			210	215	208
		単位コスト			6.348	6.540	6.428
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
学校保健会議の開催	目標	回	3	3	3	3	
	実績			3	3	3	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	学校保健の研究と普及向上を図り、児童生徒及び教職員の健康で安全な学校生活をつくりあげるための事業は必要。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	健康で安全な学校生活をおくるために研究等を行い、学校保健の向上を図ることは必要。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	財源活用の面は難しい。コスト削減に努めるとともに、事業の効果が高められるようにしていきたい。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 学校保健会事業を中心に各学校での保健管理や体育活動の推進を支援する
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○		×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		



# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000816 実践的防災教育総合支援事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620257	実践的防災教育総合支援事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法			補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			子どもたちの命を守ることを最優先のキーワードとして考えるとともに、子ども達自ら考え主体的に行動が出来る態度を育成するとともに、教職員の研修の充実を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			教職員 児童 生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災訓練の実施</li> <li>・児童・生徒への普通救命講習の実施</li> <li>・教職員応急手当普及員講習会の実施</li> <li>・消防防災センターでの体験学習</li> </ul> 委託料(運転代行) 141千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	0	141	86	163
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	328
小計	千円	0	141	86	491	
B	人件費	千円	0	473	473	473
総事業費(A+B)		千円	0	614	559	964
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	491
	府支出金	千円	0	0	86	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	0	614	473	473

# 計画事業評価表

計画事業		000816 実践的防災教育総合支援事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	教職員学校防災指導者研修会	回	0	1	1	0
目標						
実績						
単位コスト						
消防センターでの体験学習	回	12	15	15	12	
目標						
実績						
単位コスト		10.846			40.917	
児童・生徒の普通救命講習受講学校数	校	8				
目標						
実績		16				
単位コスト		8.813				
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
教職員学校防災指導者研修会参加者	目標				33	38
	実績	人			0	0
消防センターでの体験学習参加者	目標	人			500	500
	実績				416	541
児童・生徒の普通救命講習受講者数	目標	人	300			
	実績		535			

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	児童生徒が自らの命を守るための行動力の育成及び必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	消防センターでの体験学習により、地震や風水害による危険や避難方法について、自らの命を守るためにはどうすればよいのかを考えるきっかけになった。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	京都府からの委託金を活用するとともに、消防署等の協力を得て、コストの削減に努めている。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 避難訓練、消防防災センターでの体験学習、教職員応急手当て普及員講習会、児童・生徒の普通救命士養成講座の受講等いざと言うときに備えるための継続的な取組の実施が必要である 平成28年度からは子ども安全対策事業へ統合。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

担当課評価

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001042	人権教育研修事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620213	人権教育研修事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚をもった子どもの育成								
対象 (誰・何を対象に)		園児・児童・生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>「差別を許さない人材育成基本計画」に基づく取組みの推進を図る。 このため、各種の人権教育研修に教職員を派遣することにより、教員の指導力向上を図り、学校の人権教育を推進する。</p> <p>旅費 203千円 需用費 47千円 負担金補助及び交付金 136千円</p>								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	旅費	千円	257	203	0	0
	負担金補助及び交付金	千円	140	136	0	0
	需用費	千円	34	47	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
小計	千円	431	386	0	0	
B	人件費	千円	0	6,345	0	0
総事業費(A+B)		千円	431	6,731	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	431	6,731	0	0	

# 計画事業評価表

計画事業		001042 人権教育研修事業						
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
	人権施策推進 会議人材育成 部会の開催	目標	回	2	2			
		実績			2			
		単位コスト						
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		人権施策推進 会議人材育成 部会の開催	目標	回	2	2		
			実績			2		
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持った子どもの育成を図るために必要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		差別を許さない人材の育成を図るため基本計画に基づき園・学校・行政・地域の連携を図りつながりのある人権教育を行うことができる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		教職員を各種研修に派遣し学校教育における人権教育の指導力向上を図ることができるほか、学校・行政・地域の役割分担と進捗管理によりつながりのある事業を効率的に実施することができる。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align:center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001043	人権教育総合推進地域事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	人権教育研究推進事業委託要項									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620211	人権教育総合推進地域事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法			補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			学校・家庭・地域が一体となった人権教育における指導方法の改善、並びに充実のための調査・研究を行う。							
対象 (誰・何を対象に)			園児・児童・生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>学校や地域、PTA等との連携のもと、学習活動づくり、環境づくり、人間関係づくりを視点に、中学生の小学校訪問による触れあいの場や指導方法の研究や出前授業の推進、小中学校合同の人権集会の開催、また地域人材を活用した活動などを行う。</p> <p>報償費 350千円 旅費 62千円 需用費 485千円 使用料及び賃借料 103千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	434	485	0	0
		報償費	千円	400	350	0	0
		使用料及び賃借料	千円	27	103	0	0
		旅費	千円	102	62	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	37	0	0	0
	小計	千円	1,000	1,000	0	0	
	B	人件費	千円	0	473	0	0
	総事業費(A+B)	千円	1,000	1,473	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	1,000	1,000	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	473	0	0	

# 計画事業評価表

計画事業		001043 人権教育総合推進地域事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	夢を育む出会いの活動(講演会)	回	9	15		
			12			
	単位コスト		83.333			
先進地視察	単位	回	1	1		
				1		
	単位コスト		1000.000			
	単位					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1日30分未満家庭学習時間の児童生徒	目標	%	6.5	6.5		
	実績			7		
小中合同PTA人権講演会	目標	回	1	1		
	実績			1		
	目標					
	実績					

事項		担当課評価																																					
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		生活環境等が激しく変化する社会の中で、児童生徒においても人間関係の希薄さや自尊感情の低下、コミュニケーション能力不足等が、学力の低下や生徒指導上の課題を引き起こす要因ともなっている。 このため、人権教育の基盤である「一人一人の児童生徒を大切に」という人権尊重の理念のもと、地域で連携して人権教育を推進する。																																					
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		小中学校共通授業モデルを研究することにより、教員の指導力が向上する。併せて小中一貫学習モデルの検討・作成を図ることができる。 また、地域総がかりで一体となって人権教育を推進することによって、児童生徒がその将来に夢や希望を持ち、生きる力を育む。																																					
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域総がかりで一体となって人権教育を推進することによって、児童生徒がその将来に夢や希望を持ち、生きる力を育む。 検討した先行学習モデル(予習課題の指示)を実施することにより、家庭学習時間の確保・拡充が見込める。 本事業の成果報告により、効果の波及が見込める。																																					
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																					
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 小中学校共通授業モデルを研究することにより、教員の授業力が向上し、また、小中一貫教育プランを検討・作成している。 平成28年度においては、次の3点を重点課題として継続した取組みを行う。 ・児童生徒全員に学びを保障する授業づくり ・学校と地域社会の双方向の交流づくり ・子どもたちが語り合い、認め合う関係づくり				
成果の方向性	拡充		×																																				
	維持		×	○		×																																	
	縮小		×		×	×																																	
	休廃止		×	×	×																																		
		皆減	縮小	維持	拡大																																		
		コスト投入の方向性																																					

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001058	世代をつなぐふれあい事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620203	世代をつなぐふれあい事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			児童と高齢者が一緒に活動を行うことで高齢者の豊かな活動の場が広がると共に児童には地域を見つめ直すことができ、双方向の交流により豊かな心を育む。							
対象 (誰・何を対象に)			児童・地域の高齢者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			児童と地域の高齢者がふれあい共に楽しい時間を過ごす中で豊かな心を育む。 市民アイデア買取事業(単年度) 需用費 100千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	0	100	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	100	0	0
B	人件費	千円	0	95	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	195	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	0	195	0	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001058 世代をつなぐふれあい事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	交流活動の回数	目標	回		2		
		実績			2		
		単位コスト			50.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	交流活動の回数	目標			2		
実績				2			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		核家族化が進み、高齢者とのふれあいが少なくなっている現代で小学校の事業としふれあいの場を提供しその中で新たな学びやつながりをつくる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		一緒に一つの作業をすることにより児童は高齢者から昔ながらの知識や作業する手法を学ぶことができた。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		児童と高齢者、双方にとって豊かな心を育み地域とつながる良い機会となる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 今後は、既存の学校教育の中で地域との連携強化を図る。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
	皆減		縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001064	見守り活動支援事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
620260	見守り活動支援事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		近年頻発する通学路における事件・事故を受け、通学路の安全対策事業として、子どもたちが安心安全に登下校できるように見守り隊への見守り活動を支援する。							
対象 (誰・何を対象に)		各小学校区(22校)組織された見守り隊の見守り活動支援							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		見守り活動用蛍光反射ベスト等の購入							
関連事業 (同一目的事業等)									

コスト	A	需用費	千円	平成28年度	0	平成27年度	211	平成26年度	0	平成25年度	0
		報酬	千円	0	0	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
		小計	千円	0	211	0	0	0			
	B	人件費	千円	0	95	0	0	0			
		総事業費(A+B)	千円	0	306	0	0	0			
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	0			
		府支出金	千円	0	0	0	0	0			
		国・府支出金 コメント									
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他特財	千円	0	0	0	0	0			
		地方債・その他特財 コメント									
		一般財源	千円	0	306	0	0	0			

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001064 見守り活動支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	ベスト購入数	目標	枚		220		
		実績			220		
		単位コスト			0.959		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	配布箇所	目標		22		
実績				22			
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		見守り隊へは、ベスト・帽子・安全旗と複数年配布済みのため、一定必要なものは揃ったと考える。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		見守り隊の方の活動が安全にできた。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		日々の見守り活動を安全に行うために、蛍光反射ベストの購入配布は必要である。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 一定の成果あり縮小・廃止			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×			×
	縮小	×		×	×
	休廃止	○	×	×	×
	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001066	幼児・児童生徒・教職員健康管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	学校保健安全法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
620208	中学校生徒教職員健康管理事業	01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	01	学校管理費
620241	小学校児童教職員健康管理事業	01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	01	学校管理費
620247	幼稚園児教職員健康管理事業	01	一般会計	10	教育費	04	幼稚園費	01	幼稚園費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		園児・児童生徒及び教職員の健康を管理する。また、環境衛生によりアレルギー疾患への対策を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		園児・児童生徒及び教職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		園児、児童生徒の学校検診に係る医師報酬,報償費 園児、児童生徒及び教職員健康診断の実施に係る健診手数料 学校環境衛生に係る消耗品の購入費用 児童・生徒負傷時の病院への移送に係る費用 報酬 35,809千円 報償費 12,526千円 需用費 1,332千円 役務費 7,589千円 使用料及び賃借料 158千円 負担金補助及び交付金 13千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報酬	千円	36,166	35,809	0	0
		報償費	千円	12,841	12,526	0	0
		役務費	千円	10,075	7,589	0	0
		需用費	千円	1,433	1,332	0	0
		使用料及び賃借料	千円	96	158	0	0
		負担金補助及び交付金	千円	13	13	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	60,624	57,427	0	0	
	B	人件費	千円	0	2,553	0	0
	総事業費(A+B)	千円	60,624	59,980	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	60,624	59,980	0	0	

# 計画事業評価表

計画事業		001066 幼児・児童生徒・教職員健康管理事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		教職員健診受診者数	目標	人	385	385		
			実績			366		
			単位コスト			156.904		
			目標					
			実績					
			単位コスト					
		成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
				目標				
	実績							
	目標							
	実績							
目標								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		園児・児童生徒及び教職員の健康診断は、学校保健安全法に基づき行っていくものです。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		園児・児童生徒及び教職員の健康への関心を高めることが出来る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>					
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 今後も必要な事業のため継続実施			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
	コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001067	健康管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	学校保健安全法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
620214	健康管理事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: 小・中学校 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		学校保健安全法に基づく健診を実施し、児童生徒の疾病予防並びに治療の指示を行うことで健康の保持増進が図れる。患者と接する機会が多い養護職員の感染症予防を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		園児、児童生徒及び教職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		就学時健診(内科、歯科)出務医師謝礼 むし歯予防巡回歯ブラシ指導謝礼 学校検診に係る健診器具等の購入費用 学校保健室備品修繕料 フッ素洗口実施に係る薬品費用 学校聴力検査器定期検査料等の手数料 養護職員B型肝炎ワクチン接種に係る委託料 学校健診に係る医師及び児童生徒移送費 学校保健室備品の老朽化による買い替え費用 報償費 2,189千円 需用費 1,056千円 役務費 312千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報償費	千円	2,412	2,189	0	0
		需用費	千円	1,640	1,056	0	0
		使用料及び賃借料	千円	798	722	0	0
		備品購入費	千円	478	580	0	0
		役務費	千円	308	312	0	0
		委託料	千円	328	251	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	5,964	5,110	0	0	
	B	人件費	千円	0	1,229	0	0
	総事業費(A+B)	千円	5,964	6,339	0	0	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	369	417	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	5,595	5,922	0	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001067 健康管理事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
		実績					
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		学校保健安全法に基づく健診を実施し、児童生徒の疾病予防並びに治療の指示を行うことで健康の保持増進が図れる。患者と接する機会の多い養護職員の感染症予防を図るため、今後も必要となってくる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		児童生徒及び教職員の健康管理を推進			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>					
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 児童生徒の疾病予防や、養護教諭の感染症予防など恒久的に行っていくべきことであり、継続が必要。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		001070	体育活動安全対策事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度		担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業		会計		款		項		目	
620259	体育活動安全対策事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
	補助金 (補助先: )								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 各種体育大会における安全対策として実施する。								
対象	(誰・何を対象に) 各種体育大会において、児童・生徒の救護対応のため看護師派遣								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 各種体育大会において、児童・生徒の救護対応のため、看護師を派遣する経費 児童・生徒の方が一事故や負傷への対応を行う。								
関連事業	(同一目的事業等)								
コスト	A	報償費	千円	0	13	0	0	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0	0	0
		旅費	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
	小計	千円	0	13	0	0	0	0	
	B	人件費	千円	0	95	0	0	0	
	総事業費(A+B)	千円	0	108	0	0	0		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	0	108	0	0				

# 計画事業評価表

計画事業		001070 体育活動安全対策事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	看護師派遣回数	目標	5			
		実績	5			
		単位コスト	6.500			
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	専門職による教護対応	目標	5			
		実績	5			
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	各種体育大会の教護については、各校の養護教諭が種目ごとの会場に分かれて、対応しているが看護師等の専門職の資格がないため、柔道やサッカーなどの重度の負傷の危険性のある種目については、看護師対応が望ましい。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	児童・生徒の体育大会での安全対策として柔道・サッカー会場に看護師(専門職)の配置をし、対応できた。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	5回のうち2回分の派遣経費については、出務時間×市専門職臨時職員賃金単価で積算5回のうち3回分は、福知山市民病院より業務として出務し、経費なし。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 児童・生徒の体育大会における安全対策として、専門職の派遣は今後も必要である。																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001093	スポーツ振興センター災害共済負担金							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	72	学校教育の充実			担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	スポーツ振興センター法								
	構成予算事業			会計	款	項	目		
620205	日本スポーツ振興センター共済(小学校)	01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費
620245	日本スポーツ振興センター災害共済負担金(	01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費
620248	日本スポーツ振興センター災害共済掛金(	01	一般会計	10	教育費	04	幼稚園費	01	幼稚園費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業			府補助事業		市単独事業		
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	幼稚園児の園管理下における災害において療養費、災害見舞金等給付を受けられる制度へ加入する。								
対象 (誰・何を対象に)	幼児、児童・生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	日本スポーツ振興センター共済掛金 役務費 6,059千円								
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	役務費	千円	6,179	6,059	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	6,179	6,059	0	0
B	人件費	千円	0	851	0	0
	総事業費(A+B)	千円	6,179	6,910	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	2,463	2,441	0	0
	一般財源	千円	3,716	4,469	0	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001093 スポーツ振興センター災害共済負担金					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	加入人数	目標	人	6891	6939		
		実績		6839			
		単位コスト		0.886			
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	幼児、児童・生徒が学校管理下の中での災害補償に対応するため必要。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>																																		
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>																																		
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 幼児、児童・生徒が学校管理下の中での災害補償に対応するため必要である。																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×	○	×		縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×	○	×																													
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001104	A E D 管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620253	A E D 管理事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			児童・生徒の学校生活における安全対策として、A E D 関連備品・消耗品を随時更新していき、心肺停止等緊急事態に備えて適切に対応できるよう整備する。							
対 象 (誰・何を対象に)			各小中学校に配置のA E D、バッテリー、パッドの購入							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			各小中学校に配置のA E D、バッテリー、パッドの整備 A E D 本体 (使用耐用期間 8 年) 更新が必要なものは随時購入 バッテリー (使用耐用期間 4 年) 更新が必要なものは随時購入 パッド (未使用でも 2 年) 随時購入							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	備品購入費	千円	0	2,382	0	0
			需用費	千円	65	367	0	0
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			小計	千円	65	2,749	0	0
			B	人件費	千円	0	189	0
	総事業費(A+B)	千円	65	2,938	0	0		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金 コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント							
	一般財源	千円	65	2,938	0	0		

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		A E D 管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	A E D 整備数	目標	0	7		
		実績		7		
		単位コスト		392.714		
	バッテリー整備数	目標	0	9		
		実績		9		
		単位コスト		305.444		
	パッド整備数	目標	6	8		
		実績		8		
		単位コスト		343.625		
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	緊急時のAED使用率	目標	100	100		
		実績				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	学校生活、部活動、プール使用時等における心肺停止の緊急事態に対応するためには、A E D を適切に維持管理していく必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	A E D による救命率の向上は証明されており、児童・生徒の安全確保のためには有効																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	寄贈分の A E D の一斉更新 ( 25 台 ) が平成30年度になるため、予算措置が必要																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 ( 今後の事業の方向性、課題等 )</b>																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡大</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡大	×			○	維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 使用耐用年数に応じ、随時購入更新をしてきているが、今後平成30年度に寄贈分の一斉更新を迎えるため大幅な予算増額が必要となる。
成果の方向性		拡大	×			○																												
		維持	×			×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001105	学校保健・学校安全								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620238	小学校管理事業	01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	01	学校管理費	
620206	中学校管理事業	01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	01	学校管理費	
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	学校生活における安心・安全のための児童・生徒、施設、業務等に起因する災害補償等の経費、衛生推進者の研修、環境整備経費									
対象 (誰・何を対象に)	児童・生徒・教職員の健康管理、安全管理、環境整備									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	全国市長会学校災害補償保険掛金、交通安全旗の配布、プール水質検査、衛生推進者養成講習会経費施設及び業務に起因する損害賠償等及び、広範かつ高額な損害を伴う事故に対応する。衛生推進者の資格を有し、校内における衛生指導、教職員の健康の保持増進を行う。									
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	役務費	千円	701	699	0	0
	需用費	千円	257	291	0	0
	負担金補助及び交付金	千円	91	65	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,049	1,055	0	0
B	人件費	千円	0	567	0	0
総事業費(A+B)		千円	1,049	1,622	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	1,049	1,622	0	0	

# 計画事業評価表

計画事業		001105	学校保健・学校安全					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名 衛生推進者講習会受講者数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
			目標	7	6			
			実績		6			
		単位コスト		175.833				
		水質検査実施校数	単位	校	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標	22	22			
	実績			22				
	単位コスト		47.955					
	成果実績	成果指標名 衛生推進者の校内指導実施による意識の向上	単位	%	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標	100	100			
			実績		100			
		目標						
実績								
目標								
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		全小中学校に衛生推進者として、教頭に役割を担ってもらい、児童・生徒・教職員の心身の健康管理・安全管理を行うことが、学校における児童・生徒の教育のために必要である			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		常勤職員50未満の職場には、衛生推進者の設置義務があり、健康管理・安全管理・環境衛生などの活動を行うことが児童・生徒の心身の育成のために重要である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		教頭だけでなく、養護教諭、保健主事等校内で連携して学校安全衛生に取り組む必要がある。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 学校現場では、児童・生徒・教職員の安全管理、健康管理、環境衛生など多くの活動があり、衛生推進者である教頭を中心に、養護教諭、保健主事、担任、校長全てが連携・役割分担し、取り組む必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		001106 結核予防対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	新規事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	学校保健安全法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
620210	結核予防対策事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
	補助金 (補助先: )									
事務事業の意図	学校保健安全法に基づく結核検診実施後の的確な対応を行う。									
対象	児童、生徒、教職員									
事業内容	福知山市児童生徒結核対策委員会等に関する運営費(審査対象者がいた時に開催) 中丹教職員結核対策委員会負担金 需用費 46千円 負担金 41千円									
関連事業	(同一目的事業等)									
コスト	A	需用費	千円	42	46	0	0			
		負担金補助及び交付金	千円	45	41	0	0			
		報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
小計	千円	147	87	0	0					
B	人件費	千円	0	473	0	0				
総事業費(A+B)	千円	147	560	0	0					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	147	560	0	0					

# 計画事業評価表

計画事業		001106 結核予防対策事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	福知山市児童生徒結核対策委員会 開催	目標	回	1	1		
		実績			0		
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	目標					
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		学校保健安全法に基づく結核検診実施後の的確な対応が必要のため			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		健診結果への対応を医師を交え考えることが出来る。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>					
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 学校保健安全法に基づく結核検診実施後の的確な対応を行うため今後も必要となる事業である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			



# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	001107 結核検診事業										
<b>評価基準年度</b>	平成27年度		<b>事業開始年度</b>		平成27年度		<b>担当部名</b>		教育委員会		
<b>基本理念</b>	72 学校教育の充実						<b>担当課</b>		学校教育課		
<b>基本方針</b>	02 心身ともに健やかな子どもを育成する						<b>新規継続区分</b>		継続事業		
<b>施策の大綱</b>							<b>実施計画区分</b>		実施計画事業		
<b>施策</b>							<b>自由区分3</b>		棚卸し未実施		
<b>根拠法令</b>	学校保健安全法										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>		
620240	小学校結核検診事業		01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	01	学校管理費	
620209	中学校結核検診事業		01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	01	学校管理費	
620246	幼稚園児教職員結核検診事業		01	一般会計	10	教育費	04	幼稚園費	01	幼稚園費	
<b>実施方法</b>			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
<b>実施方法</b>			直接実施								
<b>実施方法</b>			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
<b>実施方法</b>			補助金 (補助先: )								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)			法令に基づく結核検診の実施								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)			児童・生徒、教職員								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			児童・生徒及び教職員結核検診の実施 役務費 883千円								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)											

		<b>単位</b>	<b>平成28年度</b>	<b>平成27年度</b>	<b>平成26年度</b>	<b>平成25年度</b>	
<b>コスト</b>	A	役務費	千円	1,076	883	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	1,076	883	0	0	
	B	人件費	千円	0	851	0	0
	総事業費(A+B)	千円	1,076	1,734	0	0	
<b>財源内訳</b>	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,076	1,734	0	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		結核検診事業											
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度						
		目標											
									実績				
		目標											
									実績				
													単位コスト
		目標											
									実績				
	単位コスト												
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度						
		目標											
実績													
											単位コスト		
目標													
								実績					
												単位コスト	
目標													
								実績					
	単位コスト												

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> (市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)		法令に基づく結核検診(胸部レントゲン)の実施			
<b>事業の有効性</b> (上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)		結核の流行を未然に防ぐ。			
<b>事業の効率性</b> (有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)					
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 法令に基づく結核検診の実施であり、学校と言う集団での感染を防ぐために、継続が必要			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減 縮小 維持 拡大				
コスト投入の方向性					

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	001108	夜久野小学校水泳学習支援事業								
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成27年度			<b>担当部名</b>	教育委員会			
<b>基本理念</b>	72	学校教育の充実				<b>担当課</b>	学校教育課			
<b>基本方針</b>	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				<b>新規継続区分</b>	継続事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施			
<b>根拠法令</b>										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
620258	夜久野小学校水泳学習支援事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
<b>実施方法</b>		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )								
		補助金 ( 補助先: )								
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)		統合により夜久野小学校で実施する水泳学習において、離れた位置にある旧明正小学校のプールへの移動手段を支援する。								
<b>対象</b> (誰・何を対象に)		児童								
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		夜久野小学校の水泳授業におけるスクールバス運行経費 委託料 156千円								
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

<b>事業計画額</b>	<b>コスト</b>	<b>委託料</b>	千円	平成28年度	171	平成27年度	156	平成26年度	0	平成25年度	0
		<b>報酬</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>給料</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>職員手当等</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>共済費</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>災害補償費</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>恩給及び退職年金</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>賃金</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>報償費</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
		<b>その他</b>	千円	0	0	0	0	0	0		
	<b>小計</b>	千円	171	156	0	0	0				
	<b>人件費</b>	千円	0	94	0	0	0				
	<b>総事業費(A+B)</b>	千円	171	250	0	0	0				
<b>財源内訳</b>	<b>国支出金</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>府支出金</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>国・府支出金コメント</b>										
	<b>地方債</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>その他特財</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>地方債・その他特財コメント</b>										
	<b>一般財源</b>	千円	171	250	0	0					

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001108 夜久野小学校水泳学習支援事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	利用回数	目標	回	24	36		
			実績			22		
			単位コスト			7.091		
			目標					
			実績					
			単位コスト					
			目標					
			実績					
			単位コスト					
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標					
実績								
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		小学校統廃合により遠方でのプールで実施することとなった水泳授業の円滑な実施を図る			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		学校より離れた場所にプールがあるが、プール授業が円滑に実施できている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>					
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 学校にプールがないため、プール授業を行ううえで本事業の活用は必須である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001109	スーパー食育スクール事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620207	スーパー食育スクール事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			中学校生徒の食生活の質を高めることが、生徒たちの心身の健康、進路実現にどのように関わっているのかについて食への関心、体力テスト、骨密度測定等実施し、検証することにより明らかにする。家庭とも連携しながら生徒の食事の質を高め、食育のさらなる充実を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			日新中学校生徒							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			食育にかかる講演会の講師謝礼・旅費 スーパー食育スクール事業実施に係る経費 骨密度測定に係る測定料 貧血検査の検査器賃借料 報償費 89千円 旅費 161千円 需用費 382千円 役務費 1949千円 使用料及び賃借料 356千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	役務費	千円	2,578	1,949	0	0
		需用費	千円	493	382	0	0
		使用料及び賃借料	千円	357	356	0	0
		旅費	千円	435	161	0	0
		報償費	千円	116	89	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	3,979	2,937	0	0	
	B	人件費	千円	0	945	0	0
	総事業費(A+B)	千円	3,979	3,882	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	3,979	2,937	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	945	0	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001109	スーパー食育スクール事業			
活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
活動実績	朝食摂取率	目標	%	90	90	
		実績			86	
		単位コスト			34.151	
	朝食内容の充実「主食・主菜・副菜」	目標	%	50	50	
		実績			47	
		単位コスト			62.489	
	給食を残さず食べる	目標	%	90	90	
		実績			72	
		単位コスト			40.792	
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
成果実績	学習意欲向上生徒の増加の有意性	目標	有無	有	有	
		実績			有	
	運動習慣定着意欲向上生徒の増加の有意性	目標	有無	有	有	
		実績			有	
		目標				
		実績				

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		H26・27年度2年間の取り組みの中で、朝食を中心とした食事内容の改善・充実が心身の健康づくり、体力向上、学習意欲の向上につながることは検証された。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		指定校において、栄養教諭を中心に食育の取り組みを事前・事後のアンケート調査、骨密度等の健康チェックなど客観的データをもとに変化を検証できている。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		指定校1校のみの実施であり、他校への広がりが課題。また、健康チェックやデータ集計などに経費がかかっており、どの学校でも実施できる内容にはなっていない。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) H26～28の3年間の事業であり、モデル校での検証結果をもとに、そのプログラムを経費をかけずに市内の各学校へ波及させることが課題である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001110	労働安全衛生管理体制整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	02	心身ともに健やかな子どもを育成する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	労働安全衛生法									
構成予算事業			会計		款		項		目	
620227	労働安全衛生管理体制整備事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )								
		補助金 ( 補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		労働安全衛生法に基づく管理体制の整備は、教職員が意欲と使命感を持って教育活動に専念できる適正な労働環境の確保のために重要である。								
対象 (誰・何を対象に)		教職員								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		労働安全衛生法等の一部改正により、医師による面接指導を実施出来る体制を整備しなければならないとなったため、月2回医師による面接指導を実施 報酬 275千円 教職員の面接指導医師報酬 報償費 25千円 衛生推進者の研修会講演謝礼								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	300	275	0	0
	報償費	千円	25	25	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	325	300	0	0
B	人件費	千円	0	945	0	0
	総事業費(A+B)	千円	325	1,245	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	325	1,245	0	0

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001110 労働安全衛生管理体制整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	面接指導回数	目標	回	24	24		
		実績			11		
		単位コスト			27.273		
	面接指導人数	目標	人	48	48		
		実績			21		
		単位コスト			14.286		
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	相談体制の定着率	目標	%	100	100		
		実績			46		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		教職員の長時間労働が大きな問題となっているが、教育委員会と学校の管理職等と連携して教職員の業務内容の見直し、補助人員の確保、部活動の見直し、相談体制の定着等対策を講じていく必要がある。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		毎月の時間外勤務の報告、メンタル相談の必要な教職員の報告を行ってもらい必要な人を相談面接につなげているが、相談の時間さえ取れないこともある。教職員を早期相談につなげることでメンタル休職を予防し、労働安全衛生管理体制を整える。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		一人当たりの面接時間が30分から1時間かかるため、多くの面接は困難である。また、1回で終了ではなく、経過観察をしていくケースもあり、効率性を求めるのはむずかしい。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 毎月相談日を2回設定し、必要な教職員の面接を行い、改善策を検討しているが、業務が忙しく、面接の時間も取れないケースがある。医師への相談の場を働き方の見直し、自分の心身の健康管理の場として定着させていきたい。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000802	就学指導事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	03	特別支援教育を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620302	就学指導事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		対象児童生徒の適切な就・修学のため、専門家(就学指導委員会委員等)による相談・指導体制を充実し、個別の教育支援計画の作成を推進する。 特別支援学級や通級指導教室における、個のニーズに応じた支援のため、指導内容等の研究・充実を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		幼児・児童生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		特別支援学級等入級にあたっての個別の指導や、特別支援教育啓発講演会・研修会を開催し、適切な就学指導を行う。 特別支援学級在籍児童生徒や通級指導教室通級児を対象とした合同校外学習及び校外研修会を実施し、より豊かな体験活動の推進を図る。 報酬 289千円 需用費 1495千円 委託料 22千円 使用料及び賃借料 143千円 負担金補助及び交付金 36千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	1,565	1,495	1,417	1,195
		報酬	千円	320	289	570	295
		使用料及び賃借料	千円	287	143	219	0
		負担金補助及び交付金	千円	41	36	36	35
		委託料	千円	18	22	43	30
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	11	0	119	328
	小計	千円	2,242	1,985	2,404	1,883	
	B	人件費	千円	0	4,059	4,060	2,736
	総事業費(A+B)	千円	2,242	6,044	6,464	4,619	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,242	6,044	6,464	4,619	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		就学指導事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
個別の教育支援計画作成校割合	目標	100	100.0	100.0	100.0	
	実績	%		94.2	93.9	
	単位コスト		21.072	25.520	20.053	
	目標					
	実績					
	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
適正就学率	目標	100	100.0	100.0	100.0	
	実績	%		77.1	64.1	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都府全体の教育水準を向上させる上で有効な手立ての一つである。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		他市、他校の先進的な教育実践に学び、教育力の向上を図る。教育相談活動を充実させ、個のニーズに応じた支援を行い、成人期に向けて健やかな成長へと導く。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		教職員の資質向上を目指し研修会等を実施し、特別支援教育の推進を図る。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000804	スクールサポーター配置事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	03	特別支援教育を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620305	スクールサポーター配置事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )								
実施方法		補助金 (補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		学習障害や注意欠陥多動性障害、高機能自閉症などの症状や重度の障害があるなど課題が大きい児童生徒をサポートし、きめ細やかな教科指導、生徒指導を行う。								
対象 (誰・何を対象に)		児童生徒								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		課題が大きい児童生徒をサポートするため、指導補助員としてスクールサポーターを配置する。 雇用者数(平成28年3月): 59人 賃金 39,913千円 旅費 11千円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	34,597	39,913	33,120	0
		旅費	千円	0	11	5	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	22,749
	小計	千円	34,597	39,924	33,125	22,749	
	B	人件費	千円	0	2,080	2,080	1,229
	総事業費(A+B)	千円	34,597	42,004	35,205	23,978	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	2,584	
	府支出金	千円	12,241	954	2,877	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	22,356	41,050	32,328	21,394	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000804 スクールサポーター配置事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	スクールサポーター配置校	目標	校	25	21	23	28
		実績			25	23	23
		単位コスト			1596.960	1440.217	989.087
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
実績				59	49	34	
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		小中学校に在籍する教育上、特別な支援を必要とする子どもたちに対して適切な教育(特別支援)を行っていく必要がある。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		発達障害等のある児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな教科指導等や生徒指導を行うことができる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		補助事業等の有効な財源がない。児童生徒の障害等の状態や保護者からの要望が年々多様化しており、学校現場からの配置要望に十分応えられていない。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 担任1人だけではカバーできない部分において個に応じた指導ができた。 学級全体の児童生徒の学習を保障するためにも、今後もスクールサポーターを配置し、担任が個人ではなく全体に関わる環境を整える必要があると考える。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
休廃止	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000805	特別支援教育推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	03	特別支援教育を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620340	特別支援教育推進事業		01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			発達障害等のある子どもの生涯にわたる一貫した支援システムの構築を図る。 福知山市就学前発達支援事業“のびのび福知っ子”の柱の一つである就学前スクリーニングを実施し、発達障害等の早期発見・早期支援を行う。更に、発達の節目である小学5年生及び中学1年生で思春期スクリーニングを実施し、子どもの困り感を把握し、不登校等二次障害を防ぎ、正しい児童生徒理解と適切な支援を行う。移行支援ツールの活用により、縦横につながる一貫した支援を行い、子ども達が自己実現できるよう支援する。							
対象 (誰・何を対象に)			就学前幼児、小学生、中学生、高校生							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			就学前スクリーニングの実施及び事後支援を行う。 思春期スクリーニングの実施及び事後支援の充実を図るとともに全校実施に向けて事業の検証を行う。 通級指導教室において、補助員を配置し、相談支援体制を強化する。 特別支援教育推進員を配置し、思春期スクリーニングの実施・集計・分析等を行う。 相談支援ファイルや各移行期における移行支援シートの機能的な活用について検証する。 特別支援教育に関する研修会及び講演会を開催し、教職員の力量アップ、理解啓発を図る。 保護者をはじめ保健・福祉・教育等関係機関による連携会議を開催し、課題を共有しながら支援連携体制の更なる充実を図る。 賃金 1,502千円 報償費 523千円 旅費 64千円 需用費 220千円 負担金補助及び交付金 10千円							
関連事業 (同一目的事業等)			平成24年度において、発達障害早期支援事業と特別支援教育総合推進事業を統合							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	1,546	1,502	211	0
		報償費	千円	777	523	462	0
		需用費	千円	369	220	166	78
		旅費	千円	152	64	89	0
		負担金補助及び交付金	千円	32	10	34	0
		報酬	千円	0	0	0	559
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	43	0	0	344
	小計	千円	2,919	2,319	962	981	
	B	人件費	千円	0	5,219	4,841	6,070
	総事業費(A+B)	千円	2,919	7,538	5,803	7,051	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	1,459	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	1,460	7,538	5,803	7,051	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000805 特別支援教育推進事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	通級指導教室補助員の配置	目標	人	2	2	2	2
			実績			1	1	1
			単位コスト			2319.000	962.000	981.000
	活動実績		目標					
			実績					
			単位コスト					
	活動実績		目標					
			実績					
			単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
成果実績	就学前スクリーニングの実施状況	目標	%	100	100.0	100.0	100.0	
		実績			99.5	99.5	99.5	
	移行支援シート活用割合 <small>小 中</small>	目標	%	5	5.0	5.0	5.0	
		実績			7.6	4.5	3.9	
		目標						
		実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		発達の節目でスクリーニングを行うなど発達障害を含む障害のある子どもの早期発見・早期支援を行い、関係機関の連携を図る支援システムの構築はニーズも期待も高く、市が取り組み充実を図るべき事業である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		発達障害を含む支援の充実、不登校、引きこもり、学力不振等の予防につながるとともに成人期に向けて健やかな成長へと導く有効な手立てである。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		関係機関の協力を得ながら低コストで成果の大きい事業を実施している。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4" style="text-align:center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性							
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000808	幼稚園児交流事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課		
基本方針	05	幼稚園教育を充実する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
620608	幼稚園児交流事業	01	一般会計	10	教育費	04	幼稚園費	01	幼稚園費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		全園児のふれあい交流の場を持つことで、大きな集団の中で一緒に活動することの楽しさを体験させる。							
対象 (誰・何を対象に)		福知山市立幼稚園園児(3歳児～5歳児)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		市立幼稚園の園児が一堂に会する「園児のつどい」の実施。 需用費 12千円 委託料 69千円 使用料及び賃借料 55千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	66	69	58	56
	使用料及び賃借料	千円	76	55	61	0
	需用費	千円	14	12	9	8
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	70
	小計	千円	156	136	128	134
B	人件費	千円	0	598	598	837
総事業費(A+B)		千円	156	734	726	971
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源		千円	156	734	726	971

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000808 幼稚園児交流事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	園児のつどい 会議等開催数	目標	5	5	5	5
		実績		5	5	6
		単位コスト		27.200	25.600	22.333
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	園児のつどい 参加者数	目標	289	279	169	174
		実績		279	171	168
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	大きな集団の中で指示を聞き、協調しながら交流を深めたり仲間意識を高めたりする体験を与えることができる。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	普段の園生活の中では味わうことの出来ない大集団の中での活動を通して、園児たちが大きく成長する機会となっている。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	従来の外部講師を招いての活動を見直し、幼稚園教諭による綿密な計画調整のもと活動内容を工夫して低コストで事業を行っている。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000812	子ども安全対策事業								
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成18年度	担当部名		教育委員会			
基本理念		72	学校教育の充実		担当課		学校教育課				
基本方針		06	教育環境を整備・充実する		新規継続区分		継続事業				
施策の大綱					実施計画区分		実施計画事業				
施策					自由区分3		棚卸し未実施				
根拠法令											
構成予算事業			会計		款		項		目		
620219	子ども安全対策事業	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育振興費		
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		( 委託先又は指定管理者 : )								
	補助金		( 補助先 : 各幼稚園・小学校・中学校 )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		地域、学校、関係機関が連携し、一体となって子どもの安全を守る環境を整備し、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進する。									
対象 (誰・何を対象に)		幼児、児童生徒									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>新1年生に防犯ブザーを配布する。            学校に安全旗等を配布する。            不審者等への早期対応により、児童生徒の通学途上での安全を確保する。            登録者に安心安全メールの発信を行い、不審者の情報を共有するとともに注意を促す。            安全を守る環境整備、子ども安全対策連絡協議会の運営、研修会・講演会の開催、教育・啓発活動を行う。</p> <p>需用費(消耗品費) 346千円            使用料及び賃借料 34千円            負担金補助及び交付金 936千円</p>									
関連事業 (同一目的事業等)											
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		負担金補助及び交付金	千円	900	936	1,000	1,000				
		需用費	千円	464	346	597	385				
		使用料及び賃借料	千円	38	34	37	0				
		報酬	千円	0	0	0	50				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	148	0	0	92					
	小計	千円	1,550	1,316	1,634	1,527					
	B	人件費	千円	0	1,040	1,040	1,040				
	総事業費(A+B)	千円	1,550	2,356	2,674	2,567					
	財源内訳	国支出金	千円	57	23	24	0				
府支出金		千円	0	0	0	0					
国・府支出金コメント											
地方債		千円	0	0	0	0					
その他特財		千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	1,493	2,333	2,650	2,567						

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000812 子ども安全対策事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	見守り活動の登録者数	目標	人	4500	4650	4,650	4,650
		実績			4016	4490	4,611
		単位コスト			0.328	0.364	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	2600	2100	2,750	2,750
		実績			2644	2040	2,001
		単位コスト					
	安心安全メモールの登録者数	目標	人				
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		登下校の安全確保を行うために、子ども見守り隊等の組織と連携を保つことは非常に重要である。 通学路の安全対策とともに防犯対策も大きな需要施策である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域、学校、家庭が連携し一体となって子どもの安全を守る環境を整備し、安心安全な学校生活を推進する事業は必要。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		見守り隊の高齢化が進みつつあり、人数的には減少傾向にある。見守り活動の人数確保が課題。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 年々厳しくなる子どもを取り巻く環境の安全を守るため、地域・学校・家庭・関係機関が連携し、市民総がかりでの対策が必要となっている。 地域の見守りを担っていたいただいている方の高齢化が進み、人数が減りつつある。新たに加わっていただける方の確保が必要。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000813	小学校遠距離通学費助成								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	06	教育環境を整備・充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620101	小学校遠距離通学費補助事業		01	一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			旧三和町小学生のうち遠距離通学者の疲労度軽減と保護者負担を軽減させる。							
対象 (誰・何を対象に)			旧三和町小学生(1・2年生)の保護者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<p>学校統廃合の代替措置として、遠距離通学を余儀なくされる児童・生徒の疲労度の軽減や保護者の負担軽減など通学条件の緩和を図るため、市バス定期代を支給する。</p> <p>旧三和町において、通学距離が4キロ以上の児童に対し行っていた補助を、激変緩和措置として5年間、毎年20パーセントずつ減額する事業については終了した。(H17.10.28 助役会確認事項。平成22年度で終了)</p> <p>扶助費 41千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	扶助費	千円	平成28年度	83	平成27年度	41	平成26年度	62	平成25年度	0
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		賃金	千円	0	0	0	0				
		報償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	42				
小計	千円	83	41	62	42						
B	人件費	千円	0	189	189	189					
総事業費(A+B)		千円	83	230	251	231					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	83	230	251	231						

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000813 小学校遠距離通学費助成				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	統配合校分	目標	1	1	1	1
		実績		1	1	1
		単位コスト		41.000	62.000	42.000
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	児童数	目標	0	2	3	1
		実績		1	2	1
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> (市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)		学校統廃合の代替措置として、遠距離通学を余儀なくされる児童・生徒の保護者の負担軽減は必要。																																				
<b>事業の有効性</b> (上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)		学校統廃合の代替措置として、遠距離通学を余儀なくされる児童・生徒の疲労度の軽減は必要。																																				
<b>事業の効率性</b> (有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)		バス通学を余儀なくされる児童には必要。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 児童の教育環境が平等に整備されることにより、児童及び保護者が積極的に教育活動に取り組むことが出来る。遠距離通学を余儀なくされる児童の疲労の軽減や保護者の負担軽減を図ることは重要である。 平成28年度は対象者なし			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000814	中学校自転車通学費助成事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	72	学校教育の充実				担当課	学校教育課			
基本方針	06	教育環境を整備・充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620242	中学校自転車通学助成事業		01	一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者: )							
補助金			( 補助先: 自転車通学生徒 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			通学手段として自転車を利用する生徒の安全管理と自転車の維持管理に要する保護者負担を軽減させる。							
対象 (誰・何を対象に)			中学生及びその保護者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			生徒が原則として6キロ以上、通学手段として自転車を利用する場合、自転車の年間維持管理経費に相当する額を補助する。(要保護・準要保護) 自転車を通学手段として利用する生徒の交通事故のため、ヘルメット購入費の一部を補助する。 負担金補助及び交付金 90千円 扶助費 217千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	扶助費	千円	213	217	234	0
	負担金補助及び交付金	千円	104	90	104	113
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	258
小計	千円	317	307	338	371	
B	人件費	千円	0	189	189	189
総事業費(A+B)		千円	317	496	527	560
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	317	496	527	560	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000814 中学校自転車通学費助成事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	活動実績	ヘルメット該当校数	目標	校	7	7	7
			実績		5	5	5
			単位コスト		61.400	67.600	74.200
	自転車該当校数	目標	校	7	7	7	
				実績	7	4	6
				単位コスト	43.857	84.500	61.833
	成果実績	ヘルメット補助人数	目標	人	150	150	150
			実績		107	128	136
			単位コスト				
自転車維持管理補助人数	目標	人	20	20	20		
			実績	20	20	23	
			単位コスト				
成果指標名	ヘルメット補助人数	目標	人	150	150	150	
		実績		107	128	136	
		単位コスト					
自転車維持管理補助人数	目標	人	20	20	20		
			実績	20	20	23	
			単位コスト				

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		通学手段として自転車を利用する生徒の安全管理と自転車の維持管理に要する保護者負担を軽減させるために必要性は高い。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		遠距離による通学手段として、自転車通学を行うものに、安全面や保護者軽減の事業は有効である。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		保護者への全額補助でなく、購入費等一部を補助するものであり、コストの削減を目指すことは難しい。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 遠距離通学により自転車を利用する生徒に、自転車の維持管理経費やヘルメットの購入経費の一部を負担することで、交通事故から身を守り通学の安全確保を行うことは重要であり、今後も継続する必要がある また、保護者負担の軽減を図ることは重要である。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x			x	
縮小	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大	

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000815	事務局一般管理事業							
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成1年度	担当部名		教育委員会		
基本理念		72	学校教育の充実			担当課		学校教育課		
基本方針		06	教育環境を整備・充実する			新規継続区分		継続事業		
施策の大綱						実施計画区分		実施計画事業		
施策						自由区分3		棚卸し未実施		
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
620131	事務局一般管理事業（学校教育課）	01	一般会計	10	教育費	01	教育総務費	02	事務局費	
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理		（委託先又は指定管理者：）							
	補助金		（補助先：）							
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）		学校教育に関する事務の適正化を図る。								
対象 （誰・何を対象に）		事務局の運営管理								
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）		事務局の運営に関する一般管理費及び校園長会に要する経費 賃金 1,536千円 旅費 174千円 需用費 581千円 役務費 255千円 委託料 9千円 使用料及び賃借料 427千円 備品購入費 89千円								
関連事業 （同一目的事業等）										
事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度			
		A	賃金	千円	0	1,536	1,287	0		
			需用費	千円	700	581	675	674		
			使用料及び賃借料	千円	370	427	487	0		
			役務費	千円	277	255	143	113		
			旅費	千円	227	174	158	0		
			備品購入費	千円	0	89	0	0		
			委託料	千円	0	9	0	0		
			報酬	千円	0	0	0	660		
			給料	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	522			
		小計	千円	1,574	3,071	2,750	1,969			
		B	人件費	千円	0	14,179	4,001	4,538,190		
		総事業費(A+B)	千円	1,574	17,250	6,751	4,540,159			
	財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0		
		府支出金	千円	0	0	0	0			
		国・府支出金 コメント								
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,574	17,250	6,751	4,540,159				

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000815 事務局一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	校園長会開催	目標	回	4	3	3	3
		実績			4	3	3
		単位コスト			767.750	916.667	656.333
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	成果実績	目標					
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価		
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		円滑な学校教育課の事務執行を図るために必要である。		
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		校園長会の開催により、幼・小・中学校(園)との連携が図れる。		
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		財源活用の面は難しい。コスト削減に努めるとともに、事業の効果が高められるようにしていきたい。		
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>		
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)</b> 事務事業効率化を図るため、一人ひとりがコスト意識を持って業務を行うことが重要である。		
成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	皆減 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/>			
	コスト投入の方向性			



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001048	児童生徒就学事務			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	教育委員会
基本理念	72	学校教育の充実		担当課	学校教育課
基本方針	06	教育環境を整備・充実する		新規継続区分	新規事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業
施策				自由区分3	棚卸し未実施
根拠法令					
構成予算事業		会計	款	項	目
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業
	直接実施				
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )				
	補助金 (補助先: )				
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	児童生徒就学に係る環境整理				
対象 (誰・何を対象に)	福知山市立小中学校児童・生徒				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	小中学校児童生徒の転居・転出・転入等に伴う就学事務				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	0	0	0
B	人件費	千円	0	6,685	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	6,685	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	6,685	0	0

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001048 児童生徒就学事務						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	学校見学会案内	目標	回	2	2			
		実績			2			
		単位コスト			0.000			
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標					
			実績					
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		小中学校児童・生徒の教育環境整備																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		児童生徒へのきめ細かな配慮の対応による安定した教育の場の提供																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		保護者・児童生徒共に負担感のない新しい教育環境への移行																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						